

資料編 アンケート調査票及び集計結果

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

<調査についてのお願い>

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、令和8年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画（第10期））」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、令和7年9月1日現在、府中市にお住まいの65歳以上の市民の皆さまの中から3,600名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお伺いするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「個人情報保護に関する法律」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年10月 府中市

回答に当たってのお願い

1. 封筒のあて名がご本人がご回答ください。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。何らかの理由でご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族や周りの方が代わりに記入してください。
2. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いいたします。
3. 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数は、それぞれの設問の指示に従ってください。また、「3つまでに○」など、○の数が指定されている設問は、あなたの考えに近いものや優先したいものを選んでご回答ください。
4. [] の場合は回答内容等を記入してください。
5. 「その他」に○印をつけた場合は、[] 内に内容を具体的に記入してください。
6. 調査票の回答にかかる時間は、およそ30分です。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月4日（火）までに
ご返送ください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課地域包括ケア推進係

電話（042）335-4537（直通）

E-mail：kourei01@city.fuchu.tokyo.jp

あなた（あて名の方）についておたずねします

F1 あなたの性別※をお答えください。

※性別については、戸籍上の区別とは別にご自身の主観によりご記入ください。（1つに○）

1. 男性	42.9%	2. 女性	55.4%	3. その他	0.1%	4. 答えたくない	0.2%
						無回答	1.4%

F2 あなたの年齢をお答えください。

※令和7年10月1日現在の年齢をお答えください。（1つに○）

1. 65～69歳	18.2%	3. 75～79歳	22.8%	5. 85～89歳	12.7%	7. 95歳以上	0.6%
2. 70～74歳	19.8%	4. 80～84歳	18.9%	6. 90～94歳	5.7%	無回答	1.2%

F3 あなたはどちらにお住まいですか。該当する福祉エリア1つに○をつけてください。（N=2,812）

福祉エリア	町名	%
1. 中央	天神町（1・2丁目）、幸町、府中町、緑町、宮町、八幡町、白吉町、宮西町（1丁目）、寿町、晴見町（1・2丁目）	16.7%
2. 白系台	白系台（車返団地除く）、小柳町（1・3丁目）、若松町（1・2丁目）、清水が丘（3丁目）	9.1%
3. 西府	東芝町、本宿町、日新町、西府町	7.0%
4. 武蔵台	武蔵台、北山町、西原町	7.1%
5. 新町	浅間町、天神町（3・4丁目）、新町、晴見町（3・4丁目）、栄町	10.7%
6. 住吉	南町、分梅町（2～5丁目）、住吉町	11.0%
7. 是政	小柳町（2・4～6丁目）、清水が丘（1・2丁目）、是政	9.2%
8. 紅葉丘	多善町、朝日町、紅葉丘、若松町（3～5丁目）	8.2%
9. 押立	押立町、車返団地	5.7%
10. 四谷	四谷	4.4%
11. 片町	矢崎町、本町、片町、宮西町（2～5丁目）、分梅町（1丁目）、白旗町、美好町、	9.8%
無回答		1.3%

F4 家族構成をお答えください。（1つに○）

1. 1人暮らし	26.0%
2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	36.4%
3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	3.3%
4. 母子・娘と同居	21.9%
5. その他（具体的に： 無回答	10.2% 2.1%

就労状況についておたずねします

問1 現在収入のある仕事をしていますか。（1つに○）

1. している（→問1-1、問1-2へ進む）	26.2%
2. 仕事をしたいが、条件が合う仕事が見つからない（→問1-1、問1-2へ進む）	4.6%
3. 特に仕事をしたいとは思わないので、していない（→問2へ進む）	48.8%
4. その他（具体的に： 無回答	12.6% 7.9%

問1で「1」又は「2」とお答えの方におたずねします	
問1-1 あなたは、何歳頃まで収入を伴う仕事をしたいですか。(1つに○)	(n=865)
1. 70歳くらいまで	10.9%
2. 75歳くらいまで	13.8%
3. 80歳くらいまで	10.1%
4. 働けるうちはいつまでも	54.5%
5. その他(具体的に:)	3.2%
6. 分からない	5.1%
無回答	2.5%

問1-2 働くうえで、次にあげることをごどの程度重視しますか。(それぞれ1つに○)	
(n=865)	
①知識や経験がいかせること	32.1%
②地域や社会に貢献できること	16.4%
③新しい人と知り合いになれること	10.6%
④健康が維持できること	43.7%
⑤収入が得られること	46.6%
とて も 重 要	24.0%
や や 重 要	23.8%
ふ つ う	25.4%
あ は ま り 重 要	6.5%
な い 重 要 で は な い	3.6%
無 回 答	8.3%

あなたの生活状況についておたずねします

問2 現在、あなたが中心となって介護や介護、日常生活の世話等をしているご家族、親戚の方はいますか。(1つに○)	(N=2,812)
1. いる(→問2-1へ進む)	15.3%
2. いない(→問3へ進む)	82.0%
無回答	2.7%

問2で「1」とお答えの方におたずねします

問2-1 どのような形で介護や介護、世話等をしていますか。(1つに○)	(n=429)
1. 一緒に暮らしながら介護や介護、世話をしている	51.3%
2. 別世帯で暮らししているが、訪問して介護や介護、世話をしている	17.2%
3. 施設に入居している	15.4%
4. その他(具体的に:)	9.8%
無回答	6.3%

問3 あなたの介護保険における要支援認定の状況についてお答えください。(1つに○)	(N=2,812)
※令和7年10月1日現在の状況でお答えください。更新申請などの理由で、結果が出ていない方は、分かっている状況でお答えください。	
1. 認定なし(自立)	62.5%
2. 介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者※	0.5%
3. 要支援1	12.6%
4. 要支援2	10.5%
5. 分からない	6.0%
無回答	7.9%
※基本チェックリスト(25項目)の実施により、生活機能の低下のおそれがあると判定された方	

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介護が必要ですか。(1つに○)	(N=2,812)
1. 介護・介護は必要ない(→問5へ進む)	75.6%
2. 何らかの介護・介護は必要だが、理由があり、現在は受けていない(→問5へ進む)	3.9%
(理由:)	
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	13.9%
(→問4-1へ進む)	
無回答	6.5%

問4で「3」とお答えの方におたずねします

問4-1 どなたの介護、介護を受けていますか。(いくつでも○)	(n=392)
1. 配偶者(夫・妻)	30.6%
2. 息子	25.8%
3. 娘	31.4%
4. 子の配偶者	6.1%
5. 孫	3.1%
6. 兄弟・姉妹	3.3%
7. 介護サービス	39.0%
8. その他(具体的に:)	9.2%
無回答	1.3%

問5 今後、医療や介護が必要になったら、どのように生活したいとお考えですか。(もともとはまるもの1つに○)	(N=2,812)
---	-----------

1. 自宅で家族を中心に医療や介護を受けたい	8.8%
2. 自宅で家族の介護と医療・介護保険サービスを組み合わせ生活したい	19.2%
3. 自宅で家族に依存せずに医療や介護保険サービスの介護を受けたい	19.3%
4. 自分や家族の状況に応じて介護施設等に短期間泊しながら、自宅で医療や介護を受けたい	9.4%
5. 見守りや生活支援サービスなどのつなぐサービス付き高齢者向け住宅で、介護を受けたい	7.9%
6. 特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい	8.9%
7. 医療機関に入院して医療や介護を受けたい	5.5%
8. その他(具体的に:)	1.2%
9. 分からない	15.8%
無回答	4.1%

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)	(N=2,812)
1. 大変苦しい	6.2%
2. やや苦しい	19.3%
3. ふつう	60.5%
4. ややゆとりがある	10.6%
5. 大変ゆとりがある	2.1%
無回答	1.4%

問7 あなたのお住まいは次のうちどれですか(名義は問いません)。(1つに○)	(N=2,812)
1. 持ち家の一戸建て(→問8へ進む)	53.4%
2. 持ち家の集合住宅(→問8へ進む)	24.3%
3. 民間賃貸住宅(一戸建て)(→問8へ進む)	1.2%
4. 民間賃貸住宅(集合住宅)(→問8へ進む)	10.9%
5. 公的賃貸住宅(都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど)(→問8へ進む)	7.5%
6. 高齢者向け住宅(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅)(→問8へ進む)	0.4%
7. その他(具体的に:)	1.1%
無回答	1.2%

問8	現在のお住まいや住環境などで困っていることはありませんか。(いくつでも○)	(N=2,812)
1.	住まいの段差や階段などの物理的な障壁	10.9%
2.	買い物をする場所が近くにない	14.1%
3.	家の周りに階段や坂が多い	2.2%
4.	家の周りの道に歩道がない、狭い	3.8%
5.	鉄道やバスの利用が不便	6.7%
6.	家族が近くにいらない	6.7%
7.	住まいの利用にかかる費用	10.7%
		無回答
		53.4%
		5.0%

問9 今後も府中市に住み続けたいと思っていますか。それともそうは思っていないませんか。次の中から1つだけ選んでください。(1つに○)

1.	ずっと住み続けたい	81.9%
2.	しばらくは住み続けたい	14.2%
	無回答	
		1.1%
		0.4%
		2.5%

からだを動かすことについておたずねします

問10 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

1.	できるし、している	53.4%
2.	できるだけしてはいない	18.5%
3.	できない	26.0%
	無回答	2.1%

問11 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

1.	できるし、している	71.6%
2.	できるだけしてはいない	10.8%
3.	できない	15.6%
	無回答	2.0%

問12 15分位続けて歩いていきますか。(1つに○)

1.	できるし、している	76.0%
2.	できるだけしてはいない	11.5%
3.	できない	11.1%
	無回答	1.5%

問13 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

1.	何度もある	10.6%
2.	1度ある	22.2%
3.	ない	66.0%
	無回答	1.3%

問14 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

1.	とても不安である	20.3%
2.	やや不安である	38.5%
3.	あまり不安でない	25.6%
4.	不安でない	14.4%
	無回答	1.1%

問15 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

1.	ほとんど外出しない	5.8%
2.	週1回	13.3%
3.	週2～4回	45.9%
4.	週5回以上	34.0%
	無回答	0.9%

問16 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

1.	とても減っている	7.1%
2.	減っている	24.4%
3.	あまり減っていない	35.7%
4.	減っていない	31.7%
	無回答	1.1%

食べることにについておたずねします

問17 身長・体重をお教えてください。

身長	平均158.2	cm
体重	平均56.5	kg

問18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

1.	はい	32.6%
2.	いいえ	64.6%
	無回答	2.8%

問19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、精知らずを含めて32本です。)(1つに○)

1.	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用(→問19-1へ進む)	14.8%
2.	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし(→問20へ進む)	35.7%
3.	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用(→問19-1へ進む)	33.1%
4.	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし(→問20へ進む)	12.3%
	無回答	4.2%

問19で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とお答えの方におたずねします

問19-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

1.	はい	90.5%
2.	いいえ	7.1%
	無回答	2.5%

問20 どなたかと食事をするにすする機会はありますか。(1つに○)

1.	毎日ある	53.2%
2.	週に何度がある	8.4%
3.	月に何度がある	16.1%
4.	年に何度がある	9.2%
5.	ほとんどない	9.1%
	無回答	4.0%

毎日の生活についておたずねします

問21 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

1.	はい	41.5%
2.	いいえ	57.1%
	無回答	1.3%

問22 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに○)

1.	できるし、している	79.9%
2.	できるだけしてはいない	10.7%
3.	できない	8.5%
	無回答	0.9%

問23 自分で食品・日用品の買い物をしていきますか。(1つに○)

1.	できるし、している	82.6%
2.	できるだけしてはいない	10.3%
3.	できない	6.3%
	無回答	0.8%

問24 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

1.	できるし、している	74.8%
2.	できるだけしてはいない	16.6%
3.	できない	8.0%
	無回答	0.7%

問25 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

1.	できるし、している	83.6%
2.	できるだけしてはいない	11.2%
3.	できない	4.4%
	無回答	0.8%

問26 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

1.	できるし、している	85.2%
2.	できるだけしてはいない	9.8%
3.	できない	4.5%
	無回答	0.5%

地域生活と日ごろの活動についておたずねします

問 27 あなたは、現在のどの程度幸福だと感じていますか。「とても不幸」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれくらい幸福を感じていますか。最も近いものをお選びください。(1つに○) (N=2,812)

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
	0.2%	0.3%	0.6%	2.2%	2.7%	16.4%	8.8%	16.4%	22.8%	11.9%	12.1%	
												無回答 5.6%

問 28 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ1つに○)

(N=2,812)	1週以上4回	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	0.8%	1.1%	1.8%	3.3%	2.5%	69.1%	21.4%
②スポーツ関係のグループやクラブ	2.6%	7.6%	6.0%	3.4%	1.9%	60.5%	17.9%
③趣味関係のグループ	0.9%	3.1%	4.3%	10.7%	4.8%	58.6%	17.5%
④学習・教養サークル	0.2%	0.8%	1.7%	3.6%	2.3%	69.5%	21.9%
⑤介護予防のための通いの場(地域交流センター、その他自主グループなど)	0.6%	3.4%	5.2%	1.6%	1.4%	68.5%	19.2%
⑥シニアクラブ(老人クラブ)	0.2%	0.9%	0.9%	1.3%	2.5%	73.6%	20.7%
⑦自治会・町会等	0.2%	0.5%	0.8%	4.1%	12.6%	61.6%	20.3%
⑧収入のある仕事	12.8%	6.7%	1.4%	1.7%	1.7%	56.5%	19.3%

問 29 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはどの活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1. 是非参加したい	4.9%	3. 参加したくない	38.1%	無回答	4.2%
2. 参加してもよい	48.3%	4. 既に参加している	4.4%		

問 30 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはどの活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1. 是非参加したい	1.4%	3. 参加したくない	62.2%	無回答	5.3%
2. 参加してもよい	28.8%	4. 既に参加している	2.4%		

問 31 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。(3つまでに○) (N=2,812)

1. 自分の楽しみが得られる活動	36.2%	7. 隣近所の人と協力し合える活動	10.3%
2. 興味ある知識や教養が得られる活動	21.3%	8. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動	3.3%
3. 自分の知識や経験をいかせる活動	11.7%	9. 地域や社会に役立つ活動	11.9%
4. 生きがいや健康づくりができる活動	27.7%	10. 行政の協力や地域自治に財源活動	2.2%
5. 余暇時間を充実させる活動	13.6%	11. その他(具体的に:)	2.0%
6. 仲間づくりや親しい友人ができる活動	15.9%	12. 特になし	27.3%
		無回答	4.9%

問 32 市では各種生きがいづくり事業を行っています。あなたは、「敬老の日記念大会※」に参加したことはありますか。70歳以上の方のみお答えください。(1つに○)

※高齢者の長寿を祝うため、毎年、敬老の日に70歳以上の市民を対象に式典やアトラクションを府中の森芸術劇場で行うものです。

1. 毎年参加している(→問32-1へ進む)	3.0%
2. 何度か参加したことがある(→問32-1へ進む)	10.1%
3. 1度だけ参加したことがある(→問32-1へ進む)	7.8%
4. 参加したことがない(→問32-1へ進む)	52.5%
5. 参加したことはないし、催し物があることを知らない(→問33へ進む)	8.5%
無回答	18.1%

問 32 で「1」～「4」とお答えの方におたずねします

問 32-1 その理由を具体的に書きください。

問 33 あなたは、「敬老の日記念大会」に今後(これからも)参加したいと思いますか。70歳未満の方は、70歳を迎えた場合を想定してお答えください。(1つに○) (N=2,812)

1. 参加したい(→問33-1へ進む)	17.7%	2. 参加するつもりはない(→問34へ進む)	62.6%
		無回答	19.7%

問 33-1 その理由を具体的に書きください。

問 34 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○) (N=2,812)

1. 週4回以上	7.9%	3. 週1回	11.3%	5. 年に数回	21.2%
2. 週に2~3回	15.1%	4. 月1~3回	19.0%	6. ほとんどない	19.0%
				無回答	6.7%

認知症についておたずねします

問 35 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○) (N=2,812)

1. はい	11.2%	2. いいえ	86.2%	無回答	2.6%
-------	-------	--------	-------	-----	------

問 36 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○) (N=2,812)

1. はい(→問36-1へ進む)	36.7%	2. いいえ(→問37へ進む)	60.2%	無回答	3.2%
------------------	-------	-----------------	-------	-----	------

問 36 で「1」とお答えの方におたずねします

問 36-1 あなたが知っている相談窓口はどれですか。(いくつでも○) (n=1,031)

1. 地域包括支援センター	84.9%	4. もの忘れ相談医	16.8%
2. かかりつけ医	51.5%	5. 若年性認知症総合支援センター	2.4%
3. 認知症疾患医療センター	10.0%	6. その他(具体的に:)	1.7%
		無回答	0.5%

問 37	あなたは認知症について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも○)	(N=2,812)
1.	認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること	85.3%
2.	記憶障害や時間・場所が分からなくなるなどの症状があること	82.6%
3.	食生活や運動など、予防の効果が認められているものがあること	49.1%
4.	高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること	81.0%
5.	早期発見や診断後の適切な支援で、進行を遅らせて穏やかに暮らせるようになること	70.2%
6.	どれも知らなかった	2.0%
	無回答	2.9%

問 38 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が重要だと考えますか。(3つまでに○)

1.	認知症に関する正しい理解が普及されていること	40.1%
2.	認知症への偏見がなく、認知症を隠さず話すことができ、助け合う雰囲気があること	41.6%
3.	認知症に関する不安や困りごとに関する相談体制が充実していること	42.1%
4.	自分でできることは自分で行い、可能な限り住み慣れた地域で暮らせること	51.7%
5.	その人に合った医療・福祉のサポートや連携の仕組みづくりがあること	44.0%
6.	認知症の人が社会での役割や生きがいをもって活動できる機会や場所があること	12.6%
7.	認知症の人の家族の交流会や相談会が充実していること	7.1%
8.	成年後見制度など認知症の人の権利を守る仕組みが浸透していること	10.5%
9.	その他(具体的に：)	1.6%
	無回答	3.9%

問 39 認知症の人の暮らし方はさまざまです。あなたは認知症になったら、どのように暮らしたいですか。既に認知症の方は、今後どのように暮らしたいですか。(もっとも当てはまるもの1つに○)

1.	家族や地域の人たちの支援を受けながら、暮らし慣れた地域で生活していきたい	17.0%
2.	医療や介護サービスを受けながら、暮らし慣れた地域で生活していきたい	45.7%
3.	介護施設(入所施設)などで必要な支援・介護を受けながら生活していきたい	22.6%
4.	その他(具体的に：)	0.8%
5.	分からない	8.9%
	無回答	5.0%

問 40 府中市では、次のような認知症とともに生きる地域づくりの活動を実施しています。あなたの参加状況についてお答えください。(①から②のそれぞれ1つに○)

	(N=2,812)	が参加していること	は参加したいところ	知らない	無回答
①認知症サポーター「ささえ隊」養成講座		4.0%	26.1%	64.0%	5.9%
②認知症に関する講演会やシンポジウム		4.3%	27.2%	60.1%	8.4%

問 41	あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいませんか。(いくつでも○)	(N=2,812)
1.	配偶者	47.2%
2.	同居の子ども	19.8%
3.	別居の子ども	37.2%
4.	兄弟姉妹・親戚・親・孫	27.6%
	無回答	1.8%

問 42 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はいませんか。(いくつでも○)

1.	配偶者	44.4%
2.	同居の子ども	15.4%
3.	別居の子ども	29.6%
4.	兄弟姉妹・親戚・親・孫	28.8%
	無回答	3.3%

問 43 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいませんか。(いくつでも○)

1.	配偶者	52.1%
2.	同居の子ども	24.4%
3.	別居の子ども	33.5%
4.	兄弟姉妹・親戚・親・孫	12.2%
	無回答	2.2%

問 44 反対に、看病や世話をしてあげる人はいませんか。(いくつでも○)

1.	配偶者	47.7%
2.	同居の子ども	17.6%
3.	別居の子ども	20.1%
4.	兄弟姉妹・親戚・親・孫	15.5%
	無回答	4.8%

問 45 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか(1つに○)

1.	はい(→問 45-1へ進む)	16.1%
2.	いいえ(→問 46へ進む)	79.2%
	無回答	4.6%

問 45-1 差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

1.	自分の健康・病気	52.9%
2.	家族の健康・病気	30.2%
3.	自分の学業・仕事	1.3%
4.	家族の学業・仕事	4.4%
5.	自分の障害に関すること	9.3%
6.	家族の障害に関すること	8.4%
7.	家族の介護・介助	14.1%
	無回答	1.8%

問 46 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいいしていますか。(1つに○) (N=2,812)

1. 個人的なことを相談し合える人がいる	9.7%
2. さしさわりのないことなら、話せる人がいる	36.0%
3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる	37.7%
4. あいさつや会話はいいが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる	5.7%
5. 全く交流はなく、近隣に住む人を知らない	4.8%
無回答	6.2%

健康づくりや介護予防などについておたずねします

問 47 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○) (N=2,812)

1. とてもよい	7.8%	3. あまりよくない	22.4%	無回答	2.0%
2. まあよい	63.1%	4. よくない	4.7%		

問 48 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○) (N=2,812)

1. はい	34.8%	2. いいえ	62.3%	無回答	2.8%
-------	-------	--------	-------	-----	------

問 49 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しい感じがよくありませんでしたか。(1つに○) (N=2,812)

1. はい	22.9%	2. いいえ	73.9%	無回答	3.2%
-------	-------	--------	-------	-----	------

問 50 タバコは吸っていますか。(1つに○) (N=2,812)

1. ほぼ毎日吸っている	8.0%	3. 吸っていたがやめた	31.5%	無回答	2.1%
2. 時々吸っている	1.2%	4. もともと吸っていない	57.1%		

問 51 あなたには、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がいますか。(①から③のそれぞれ1つに○)

	いる	ない	分からない	無回答
①かかりつけ医	82.0%	11.5%	3.2%	3.3%
②かかりつけ歯科医	70.4%	17.2%	3.7%	8.7%
③かかりつけ薬局	63.2%	21.1%	7.3%	8.4%

問 52 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○) (N=2,812)

1. ない	14.3%	11. 外傷 (転倒・骨折等)	4.3%
2. 高血圧	43.8%	12. がん (悪性新生物)	5.7%
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	4.1%	13. 血液・免疫の病気	1.5%
4. 心臓病	13.1%	14. うつ病	1.8%
5. 糖尿病	13.3%	15. 認知症 (アルツハイマー病等)	0.9%
6. 高脂血症 (脂質異常)	19.1%	16. パーキンソン病	1.4%
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	6.2%	17. 目の病気	19.1%
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	6.2%	18. 耳の病気	6.0%
9. 腎臓・前立腺の病気	8.6%	19. その他 (具体的に：)	10.7%
10. 筋骨格の病気 (肩こり・腰痛等)	15.3%	無回答	3.8%

問 53 府中市では、いつまでも元気で暮らせるための介護予防事業を行っています。下記の事業のうち、(1)「参加している・参加したことがある」のはどれですか。また(2)参加の有無に関わらず今後(これから)も、参加したいものはありますか。(いくつでも○) (N=2,812)

	(1)	(2)
1. フレイル※1 予防講習会(フレイル予防に関する講習・測定)	9.5%	今後(これから)も参加したい
2. 地域交流体操(各地域でのCD音源で行う体操の場)	9.4%	
3. 介護予防推進センター※2での介護予防教室(3か月教室等)	5.5%	
4. 介護予防講座(運動、栄養、脳トレーニング)	6.0%	
5. 体力測定会(協力・柔軟力・バランス力等の測定)	10.2%	
無回答	80.9%	61.6%

※1 ところどころからの機能の低下により、要介護状態になる可能性が高い状態です。フレイルの状態から健康な状態に改善する(可逆性)ことができます。

※2 介護予防を推進・普及し、その継続を支援することで高齢者の日常生活を支えることを目的とした施設です。

問 53-1 へ進む

問 53 で介護予防事業に1つでも「参加している・参加したことがある」とお答えの方におたずねします

問 53-1 介護予防に取り組んだ結果、具体的な成果がありましたか。(いくつでも○) (n=537)

1. 通院回数が減った	1.5%	5. 他の人と交流でき、外出の回数が増えた	27.2%
2. 服用している薬の量や種類が減った	1.3%	6. 介護予防で認知症の予防効果が上がった	23.8%
3. 体力が向上した	20.3%	7. 具体的な成果は感じなかった	23.6%
4. 気持ちが前向きになり生活にやりがいがでた	35.8%	8. その他 (具体的に：)	7.6%
		無回答	6.9%

情報についておたずねします

問 57 あなたは、健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動、権利擁護等に関する情報をどこから（誰）から入手していますか。（いくつでも○）（N=2,812）

1. 市の広報紙・ホームページ	63.2%	10. 民生委員・児童委員	2.0%
2. 市の相談窓口	4.3%	11. 家族や親族	20.3%
3. 地域包括支援センター	19.3%	12. 友人・知人・近隣の人	20.0%
4. 保健所・保健センター	1.5%	13. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	31.9%
5. 社会福祉協議会	3.7%	14. 講演会・講習会等	2.1%
6. 介護予防推進センター	2.6%	15. インターネット、SNS	14.9%
7. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など	15.4%	16. その他（具体的に：　　）	1.1%
8. ホームヘルパー（訪問介護員）	2.5%	17. 特いない	9.7%
9. ケアマネジャー（介護支援専門員）	10.0%	無回答	2.7%

問 58 あなたは、暮らしの問題や福祉などについて困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも○）（N=2,812）

1. 市の相談窓口	51.1%	8. ケアマネジャー（介護支援専門員）	13.2%
2. 地域包括支援センター	33.4%	9. 民生委員・児童委員	2.8%
3. 保健所・保健センター	2.9%	10. 家族や親族	54.0%
4. 社会福祉協議会	5.3%	11. 友人・知人・近隣の人	25.9%
5. 権利擁護センターふちゅう	0.5%	12. その他（具体的に：　　）	1.1%
6. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など	17.8%	13. 相談できる人がいない	3.2%
7. ホームヘルパー（訪問介護員）	2.8%	無回答	2.4%

問 54 府中市では心身の状態が低下した方を対象に、再び元気になって住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるようにするための短期集中予防サービスを実施しています。このサービスは専門職と面談しながら3か月間12回、通所（必要に応じて訪問1回）で実施するものです。あなたは心身状態が低下したら、このようなサービスを利用したいと思いますか。（1つに○）（N=2,812）

1. 利用したい	37.2%
2. 利用したくない	7.1%
3. 分からない	49.5%
無回答	6.2%

災害時の対応についておたずねします

問 55 地震等の災害が起こったときにあなたの手助けをしてくれる人はいいますか。（いくつでも○）（N=2,812）

1. 同居の家族	63.0%
2. 別居の家族	41.8%
3. 近所の人	21.8%
4. 友人・知人	15.4%
5. その他（具体的に：　　）	3.1%
6. いない	10.0%
7. 必要ない	0.9%
無回答	2.0%

問 56 災害に備えてどのようなことをしていますか。（いくつでも○）（N=2,812）

1. 日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流	18.0%
2. 住民同士で行う防災組織の活動の充実	5.9%
3. 地域での防災訓練への参加	14.9%
4. 市が作成した防災ハンドブックやハザードマップ（地震、水害、土砂災害）の確認	49.9%
5. その他（具体的に：　　）	7.8%
6. 特にしていない	31.4%
無回答	3.2%

介護保険についておたねします

問 59 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っています。これらのサービスを知っていますか。(サービsgoとにそれぞれ1つにO) (N=2,812)

サービス名		サービスの内容	知っている	知らない	無回答
居宅サービス	①訪問介護	入浴、排泄、食事などの身体介護や調理、掃除などの生活援助	78.0%	13.2%	8.8%
	②訪問看護	看護師等の訪問による療養上の世話や診療の補助	71.6%	18.7%	9.7%
	③訪問リハビリテーション	理学療法士、作業療法士等が居宅を訪問して行うリハビリテーション	52.5%	34.8%	12.7%
	④訪問入浴介護	居宅を訪問し、浴槽を搬出して行う入浴介護	69.5%	19.5%	11.1%
	⑤居宅療養管理指導	医師や看護師、歯科医師、管理栄養士等が訪問して行う療養上の管理指導	38.3%	46.0%	15.7%
	⑥通所介護(デイサービス)	通所介護施設等で食事、入浴など日常生活の支援や生活行為向上のための支援	74.3%	15.4%	10.3%
	⑦通所リハビリテーション(デイケア)	老人保健施設や医療機関等で食事、入浴など日常生活の支援や生活行為向上のためのリハビリテーション	62.7%	24.5%	12.8%
	⑧短期入所生活介護(ショートステイ)	特別養護老人ホーム等への短期間入所	62.8%	25.2%	12.0%
	⑨短期入所療養介護(医療型ショートステイ)	老人保健施設等への短期間入所	49.3%	36.6%	14.1%
	⑩特定施設入居者生活介護	介護付き有料老人ホーム等に入居し、食事、入浴、排泄等に関わる介護や機能訓練を受ける支援	44.2%	41.0%	14.7%
施設サービス	⑪福祉用具の貸与	車いす等の貸出し	66.8%	22.4%	10.8%
	⑫特定福祉用具購入	入浴や排泄等に使用する福祉用具の販売	49.4%	36.2%	14.3%
	⑬住宅改修費の支給	手すりやスロープなど、住宅の小規模な改修費の支給	62.6%	25.4%	12.1%
	⑭介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	常時介護を必要とする方が入居し、食事、入浴、排泄等の日常生活上の支援や介護を受ける施設	68.6%	19.8%	11.6%
	⑮介護老人保健施設(老人保健施設)	看護・介護・療養等の専門的なサービスや日常的なサービスを提供し、機能回復を目指す施設	52.2%	34.2%	13.6%
	⑯介護医療院	長期療養を必要とする方に、医学的管理のもとにおける介護、必要な医療や日常の世話を提供する施設	30.7%	54.7%	14.6%

サービス名		サービスの内容	知っている	知らない	無回答
地域密着型サービス	①夜間対応型訪問介護	夜間において、定期巡回の訪問介護、随時の訪問介護、通報によるオペレーションサービスを組み合わせて行うサービス	21.6%	65.9%	12.5%
	②定期巡回・随時対応型訪問介護看護	日中・夜間を通じて、定期巡回と利用者からの通報により随時対応する訪問介護と訪問看護を組み合わせて行うサービス	24.5%	62.8%	12.8%
	③小規模多機能型居宅介護	「通所」を中心として、要介護者の状態から、随時「訪問」や「泊り」を組み合わせて提供するサービス	19.1%	67.5%	13.4%
	④看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護及び訪問看護を一体的に行うサービス	14.3%	71.4%	14.4%
	⑤地域密着型通所介護	定員18人以下の小規模な通所介護	14.3%	71.3%	14.4%
	⑥認知症対応型通所介護	認知症の居宅要介護者を対象とした通所介護サービス	15.3%	70.2%	14.5%
	⑦認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	地域の中で中程度の認知症高齢者が少数の家庭的な環境の中で暮らす介護を提供するサービス	30.7%	56.3%	13.0%
	⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	入居定員29人以下の小規模な特別養護老人ホーム	16.7%	69.3%	13.9%

在宅療養サービスについておたずねします

問 60 在宅での療養が必要となった時に必要に応じ受けられるサービスがありますが、次のことを知っていますか。(①から⑥のそれぞれ1つに○) (N=2,812)

サービス名	サービスの内容	知っている	知らない	無回答
①訪問診療	通院が困難な方の自宅などに計画的・定期的に医師が訪問し、診療する。	60.7%	29.7%	9.6%
②往診	容体が急変した際など、不定期に患者の自宅などに医師が訪問し、診療する。	50.1%	38.9%	11.0%
③訪問歯科診療	通院が困難な方の自宅などに歯科医師・歯科衛生士が訪問し、歯の治療や入れ歯の調整等を通じて食事を噛んで飲み込めるよう支援を行う。	41.4%	47.3%	11.3%
④訪問薬剤管理	通院が困難な方の自宅などに薬剤師が訪問し、薬の飲み方や組み合わせ等の確認・管理、説明等を行う。	26.6%	61.3%	12.1%
⑤訪問栄養食事指導	管理栄養士が自宅等に訪問し、病状や食事の状況、栄養状態や生活習慣に適した食事等の栄養管理の指導を行う。	18.8%	68.6%	12.7%
⑥訪問によるリハビリテーション	通院が困難な方の自宅などに理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが訪問し、運動機能や日常生活で必要な動作を行えるように、訓練や家屋の適切な改造の指導等を行う。	33.6%	54.2%	12.1%

問 61 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいと思いますか。(1つに○) (N=2,812)

1. そう思う (→問 61-1へ進む)	23.8%
2. そう思わない (→問 61-2へ進む)	35.2%
3. 分らない (→問 62へ進む)	33.3%
無回答	7.7%

問 61で「1. そう思う」とお答えの方におたずねします

問61-1	ご自宅での療養は可能だと思いますか。(1つに○)	(n=670)
1.	可能だと思う (→問 62へ進む)	39.6%
2.	難しいと思う (→問 61-2へ進む)	34.8%
3.	分からない (→問 62へ進む)	24.0%
	無回答	1.6%

問 61で「2. そう思わない」又は問 61-1で「2. 難しいと思う」とお答えの方におたずねします

問61-2 それをなぜですか。(3つまでに○)	(n=1223)
1. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるか分からないから	28.7%
2. 急に病状が変わったときの対応が不安だから	46.8%
3. 往診・訪問診療してくれる医師がいないから	11.1%
4. 訪問看護や介護の体制が不十分だから	6.0%
5. 家族に負担をかけるから	71.1%
6. 看護や介護してくれる家族がいないから	23.4%
7. 療養できる部屋やトイレなど住環境が整っていないから	23.3%
8. お金がかかるから	12.0%
9. その他(具体的に：)	2.8%
10. 特に理由はない	0.9%
無回答	2.4%

問 62 あなたは、人生の最期をどうすごしたいか、ご家族等※や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(1つに○)

※ご家族等の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人(友人、知人)を含みます。(N=2,812)

1. 詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している (→問 63へ進む)	1.4%
2. 詳しく話し合っている (→問 63へ進む)	2.2%
3. 一応話し合っている (→問 63へ進む)	32.6%
4. 話し合ったことはない (→問 62-1へ進む)	57.9%
5. その他 (具体的に：) (→問 63へ進む)	1.1%
無回答	4.8%

問 62 で「4. 話し合ったことはない」とお答えの方におたずねします

問 62-1 それはなぜですか。(もともとも当てはまるもの1つに○)	(n=1,628)
1. 話し合える相手がないから	10.5%
2. 話し合う必要がないから	7.7%
3. 話し合う時間がないから	10.0%
4. 縁起でもないことは考えたくないから	9.2%
5. 自分の最期は家族等の判断に任せているから	42.0%
6. その他 (具体的に：)	16.6%
無回答	4.1%

問 63 市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについて、ご意見・ご要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、11月4日(火)までに返送してください。

居宅サービス利用者調査

＜調査についてのごお願い＞

市民の皆様には日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、令和8年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、令和7年9月1日現在、65歳以上で居宅サービスを利用している市民の皆さまの中から1,800名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお伺いするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「個人情報保護の保護に関する法律」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年10月 府中市

回答に当たってのお願い

- 1. 封筒のあて名ご本人がご回答ください。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。何らかの理由でご本人が記入できない場合には、ご本人の意思を反映してご家族や周りの方が代わりに記入してください。
- 2. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆をお願いします。
- 3. 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数は、それぞれの設問の指示に従ってください。また、「3つまでに○」など、○の数が指定されている設問は、あなたの考えに近いものや優先したいものを選んでご回答ください。
- 4. [] の場合は回答内容等を記入してください。
- 5. 「その他」に○印をつけた場合は、[] 内に内容を具体的に記入してください。
- 6. 調査票の回答にかかる時間は、およそ20分です。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月4日（火）までに 返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課地域包括ケア推進係

電話（042）335-4537（直通）

E-mail：kourei01@city.fuchu.tokyo.jp

【調査票のご記入に先立ちまして、おたずねします】

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えのないようにお答えください。

※回答はできる限り、あて名のご本人がご記入ください。ご本人おひとりの回答が難しい場合は、ご家族や施設の職員がご本人の意見を聞いたうえでご記入ください。

◎この調査票はどなたがご記入されますか。（1つに○）

(N=1,191)

1. あて名ご本人	49.3%	4. 娘・息子の配偶者	4.7%	7. その他の親族	0.7%
2. 配偶者（夫又は妻）	13.9%	5. 親	0.0%	8. 施設職員	0.2%
3. 娘・息子	25.3%	6. 兄弟・姉妹	0.8%	9. その他（具体的に：）	0.8%
				無回答	4.4%

あなた（あて名の方）についておたずねします

F 1 あなたの性別※をお答えください。

※性別については、戸籍上の区別とは別にご自身の主観によりご記入ください。（1つに○）

(N=1,191)

1. 男性	36.3%	2. 女性	62.1%	3. その他	0.1%	4. 答えたくない	0.1%
						無回答	1.4%

F 2 あなたの年齢をお答えください。

※令和7年10月1日現在の年齢でお答えください。（1つに○）

(N=1,191)

1. 65～69歳	3.0%	4. 80～84歳	21.9%	7. 95歳以上	7.6%
2. 70～74歳	7.2%	5. 85～89歳	25.2%	無回答	1.2%
3. 75～79歳	14.1%	6. 90～94歳	19.7%		

F3 あなたはどちらにお住まいですか。該当する福祉エリア1つに○をつけてください。（N=1,191）

福祉エリア	町名	%
1. 中央	天神町(1・2丁目)、幸町、府中町、緑町、宮町、八幡町、日吉町、宮西町(1丁目)、寿町、晴見町(1・2丁目)	16.6%
2. 白糸台	白糸台(車返団地除く)、小柳町(1・3丁目)、若松町(1・2丁目)、清水が丘(3丁目)	9.1%
3. 西府	東芝町、本宿町、日新町、西府町	6.5%
4. 武蔵台	武蔵台、北山町、西原町	7.1%
5. 新町	浅間町、天神町(3・4丁目)、新町、晴見町(3・4丁目)、栄町	10.4%
6. 住吉	南町、分梅町(2～5丁目)、住吉町	11.3%
7. 是政	小柳町(2・4～6丁目)、清水が丘(1・2丁目)、是政	9.2%
8. 紅葉丘	多磨町、朝日町、紅葉丘、若松町(3～5丁目)	8.1%
9. 押立	押立町、車返団地	4.9%
10. 四谷	四谷	4.6%
11. 片町	矢崎町、本町、片町、宮西町(2～5丁目)、分梅町(1丁目)、日鋼町、美好町	11.0%
無回答		1.1%

F4 家族構成をお教えてください。（1つに○）

1. 1人暮らし	27.2%
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	26.6%
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	0.8%
4. 息子・娘と同居	32.1%
5. その他(具体的に：)	12.2%
無回答	1.2%

あなたのお住まいについておたずねします

問1 あなたのお住まいは次のうちどれですか(名義は問いません)。(1つに○)

1. 持ち家の一戸建て(→問1-1へ進む)	54.0%
2. 持ち家の集合住宅(→問1-1へ進む)	19.0%
3. 民間賃貸住宅(一戸建て)(→問1-1へ進む)	1.0%
4. 民間賃貸住宅(集合住宅)(→問1-1へ進む)	9.8%
5. 公営賃貸住宅(都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど)(→問1-1へ進む)	8.8%
6. 高齢者向け住宅(有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅)(→問1-1へ進む)	4.7%
7. その他(具体的に：)	1.9%
無回答	0.8%

問1で「1」～「6」とお答えの方におたずねします

問1-1 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありませんか。(いくつでも○) (n=1,159)

1. 住まいの段差や階段などの物理的な障壁	22.0%	7. 住まいの利用にかかる費用	8.8%
2. 買い物をする場所が近くにない	19.4%	8. 立ち退きを求められている	0.7%
3. 家の周りに階段や坂が多い	3.2%	9. 引越しがたい	1.6%
4. 家の周りに道に歩道がない、狭い	6.2%	10. 近隣トラブル	1.6%
5. 鉄道やバスの利用が不便	9.5%	11. その他(具体的に：)	4.5%
6. 家族が近くにくい	10.4%	12. 特になし	42.2%
		無回答	5.0%

問2 今後も府中市に住み続けたいと思っていますか。それともそうは思っていないませんか。次の中から1つだけ選んでください。(1つに○)

1. ずっと住み続けたい	85.1%	3. できれば市外に移りたい	0.8%
2. しばらくは住み続けたい	10.9%	4. 市外に移りたい	0.3%
		無回答	2.9%

医療についておたずねします

問3 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

1. ない	3.9%	11. 外傷(転倒・骨折等)	7.7%
2. 高血圧	48.8%	12. がん(悪性新生物)	5.8%
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	12.5%	13. 血液・免疫の病気	2.3%
4. 心臓病	17.0%	14. うつ病	3.4%
5. 糖尿病	18.6%	15. 認知症(アルツハイマー病等)	19.7%
6. 高脂血症(脂質異常)	15.3%	16. パーキンソン病	4.9%
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	7.2%	17. 目の病気	19.1%
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	5.9%	18. 耳の病気	8.3%
9. 腎臓・前立腺の病気	11.3%	19. その他(具体的に：)	16.4%
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	22.1%	無回答	1.7%

問4 あなたには、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がいますか。

(①から③のそれぞれ1つに○)

	(N=1,191)	いる	いない	分からない	無回答
①かかりつけ医		94.5%	2.6%	1.1%	1.8%
②かかりつけ歯科医		64.4%	20.0%	3.2%	12.4%
③かかりつけ薬局		79.4%	8.2%	3.8%	8.6%

問5 在宅での療養が必要となった時に必要に応じ受けられるサービスがありますが、次のことを知っていますか。(①から⑥のそれぞれ1つに○) (N=1,191)

サービス名	サービスの内容	知っている	知らない	無回答
①訪問診療	通院が困難な方の自宅などに計画的・定期的に医師が訪問し、診療する。	73.0%	18.6%	8.3%
②住診	容体が急変した際など、不定期に患者の自宅などに医師が訪問し、診療する。	58.3%	29.4%	12.3%
③訪問歯科診療	通院が困難な方の自宅などに歯科医師・歯科衛生士が訪問し、歯の治療や入れ歯の調整等を通じて食事を嚥んで飲み込めるよう支援を行う。	49.7%	37.9%	12.4%
④訪問薬剤管理	通院が困難な方の自宅などに薬剤師が訪問し、薬の飲み方や組み合わせ等の確認・管理、説明等を行う。	38.5%	48.9%	12.6%
⑤訪問栄養食事指導	管理栄養士が自宅等に訪問し、病状や食事の状況、栄養状態や生活習慣に適した食事等の栄養管理の指導を行う。	24.3%	62.0%	13.7%
⑥訪問によるリハビリテーション	通院が困難な方の自宅などに理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などが訪問し、運動機能や日常生活に必要な動作を行えるように、訓練や家屋の適切な改造の指導等を行う。	53.3%	34.7%	12.0%

問6 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(1つに○)
※令和7年10月1日現在の要介護度でお答えください。更新申請中などの理由で、結果が出ていない方は、分かっている介護度でお答えください。(N=1,191)

1. 要支援1	16.0%	3. 要介護1	21.2%	5. 要介護3	10.3%	7. 要介護5	5.0%
2. 要支援2	16.5%	4. 要介護2	17.4%	6. 要介護4	7.9%	8. 分からない	2.4%
				無回答			
				3.3%			

問7 最初に要介護認定を受けたとき、どなたから申請を勧められましたか。(いくつでも○) (N=1,191)

1. 地域包括支援センターの職員	41.6%	5. 介護サービスを利用している友人	3.4%
2. 民生委員	1.5%	6. 息子や娘など親族	27.0%
3. かかりつけの医師	14.7%	7. 自分で調べた	5.7%
4. 入院したとき医師や看護師等から	23.3%	8. その他(具体的に：)	5.7%
		無回答	
		3.9%	

問8 今後、どのように生活したいとお考えですか。(もっとも当てはまるもの1つに○) (N=1,191)

1. 自宅で家族を中心に医療や介護を受けたい	13.9%
2. 自宅で家族の介護と医療・介護保険サービスを組み合わせて生活したい	31.1%
3. 自宅で家族に依存せずに医療や介護保険サービスの介護を受けたい	13.0%
4. 自分や家族の状況に応じて介護施設等に短期間泊しながら、自宅で医療や介護を受けたい	9.3%
5. 見守りや生活支援サービスなどのついでに単独老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で、介護を受けたい	5.5%
6. 特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい	7.8%
7. 医療機関に入院して医療や介護を受けたい	2.1%
8. その他(具体的に：)	2.1%
9. 分からない	8.5%
無回答	
6.7%	

問9 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてうかがいます。(1つに○) (N=1,191)

1. 入所・入居は検討していない(→問10へ進む)	69.5%
2. 入所・入居を検討している(→問9-1へ進む)	12.3%
3. すでに入所・入居申し込みをしている(→問9-1、問9-2へ進む)	10.7%
無回答	
7.6%	

問9で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします

問9-1 申し込みをしている又は検討している理由は何ですか。(いくつでも○) (n=273)

1. 在宅介護サービスのみでは不十分だから	19.0%
2. 家族の仕事等で、在宅で介護を十分受けられないから	28.6%
3. 家族が精神的・肉体的に疲れているため	39.2%
4. 1人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから	35.5%
5. 入所・入居まで時間(期間)がかかるので、早めに申し込み必要があるから	13.2%
6. 自己負担の費用が少なくてすむから	7.7%
7. その他(具体的に：)	7.0%
無回答	
12.5%	

問9で「3」とお答えの方におたずねします

問9-2 入所・入居申し込みをした施設・居住系サービスの種類は何ですか。(1つに○) (n=127)

1. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	17.3%
2. 介護老人保健施設(老人保健施設)	6.3%
3. 介護医療院	0.0%
4. 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)	42.5%
5. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	16.5%
6. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(地域密着型の特別養護老人ホーム)	2.4%
無回答	
15.0%	

福祉サービスの利用状況についておたずねします

問 10	あなたは、以下のような民間サービスを利用していますか。(いくつでも○)	(N=1, 191)
1.	民間の食事宅配サービス	12.5%
2.	民間の有償家事援助サービス	6.8%
3.	民間の緊急通報・見守り支援サービス	6.0%
4.	民間の認知症高齢者等高齢者探索サービス	1.1%
5.	社会福祉協議会の有償在宅福祉サービス	5.2%
6.	社会福祉協議会の地域福祉権利擁護事業(日常生活自立支援事業)	5.1%
7.	社会福祉協議会の福祉有償運送・移送サービス	3.4%
8.	その他(具体的に:)	10.7%
9.	民間サービスは利用していない	48.4%
	無回答	12.6%

認知症についておたずねします

問 11	あなたは認知症について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも○)	(N=1, 191)
1.	認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること	79.9%
2.	記憶障害や時間・場所が分からなくなるなどの症状があること	74.6%
3.	食生活や運動など、予防の効果が認められているものがあること	37.1%
4.	高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること	64.5%
5.	早期発見や診断後の適切な支援で、進行を遅らせて穏やかに暮らせるようになること	57.8%
6.	どれも知らなかった	4.1%
	無回答	4.9%

問 12	あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が必要だと考えますか。(3つまでに○)	(N=1, 191)
------	---	------------

1.	認知症に関する正しい理解が普及されていること	36.8%
2.	認知症への偏見がなく、認知症を隠さず話すことができ、助け合う雰囲気があること	36.8%
3.	認知症に関する不安や困りごとに関する相談体制が充実していること	38.2%
4.	自分でできることは自分で行い、可能な限り住み慣れた地域で暮らせること	53.5%
5.	その人に合った医療・福祉のサポートや連携の仕組みづくりがあること	37.1%
6.	認知症の人が社会での役割や生きがいをもって活動できる機会や場所があること	15.1%
7.	認知症の人の家族の交流会や相談会が充実していること	8.0%
8.	成年後見制度など認知症の人の権利を守る仕組みが浸透していること	9.3%
9.	その他(具体的に:)	1.5%
	無回答	6.6%

問 13 認知症の人の暮らし方はさまざまです。あなたは認知症になったら、どのように暮らしたいですか。既に認知症の方は、今後どのように暮らしたいですか。(もとも当てはまるもの1つに○)(N=1, 191)

1.	家族や地域の人たちの支援を受けながら、暮らし慣れた地域で生活していきたい	24.0%
2.	医療や介護サービスを受けながら、暮らし慣れた地域で生活していきたい	39.8%
3.	介護施設(入所施設)などで必要な支援・介護を受けながら生活していきたい	20.2%
4.	その他(具体的に:)	0.7%
5.	分からない	7.4%
	無回答	7.9%

地域生活と日ごろの活動についておたずねします

問 14 あなたは、現在のどの程度幸福だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれぐらいになると感じますか。最も近いものをお選びください。(1つに○)(N=1, 191)

とても不幸											とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	
0.2%	0.7%	1.8%	3.6%	3.4%	19.3%	9.6%	15.2%	19.6%	7.4%	13.4%	
										無回答 6.0%	

問 15 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいでいますか。(1つに○)(N=1, 191)

1.	個人的なことを相談し合える人がいる	11.8%
2.	さしぜわりのないことなら、話せる人がいる	28.5%
3.	道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる	34.5%
4.	あいさつや会話はしないが、顔を見れば近隣の人だと分かる人がいる	9.6%
5.	全く交流はなく、近隣に住む人を知らない	10.2%
	無回答	5.5%

問 16 あなたが、高齢や病気などで日常生活が不自由になったとき、隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてほしいですか。(3つまでに○)(N=1, 191)

1.	日ごろの安否確認	38.5%	7.	外出の付添い	11.3%
2.	趣味など世間話の相手	10.7%	8.	災害時の手助け	38.6%
3.	介護などの相談相手	13.6%	9.	こみ出しなどの家庭支援	11.0%
4.	炊事、洗濯、掃除などの家事	12.1%	10.	電球交換などの簡単な作業	10.6%
5.	ちょっとした買い物	18.6%	11.	特にない	19.2%
6.	介護が必要な家族などの預かり	3.1%		無回答	4.5%

情報についておたずねします

問 20 あなたは、健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動、権利擁護等に関する情報をどこから（誰）から）入手していますか。（いくつでも○）（N=1,191）

1. 市の広報紙・ホームページ	36.6%	10. 民生委員・児童委員	1.5%
2. 市の相談窓口	3.8%	11. 家族や親族	35.4%
3. 地域包括支援センター	32.6%	12. 友人・知人・近隣の人	11.8%
4. 保健所・保健センター	0.4%	13. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	23.5%
5. 社会福祉協議会	3.4%	14. 講演会・講習会等	1.3%
6. 介護予防推進センター	2.0%	15. インターネット、SNS	4.5%
7. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など	18.2%	16. その他（具体的に：　）	1.3%
8. ホームヘルパー（訪問介護員）	14.2%	17. 特にない	3.4%
9. ケアマネジャー（介護支援専門員）	60.1%	無回答	4.6%

問 21 あなたは、暮らしの問題や福祉などについて困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも○）（N=1,191）

1. 市の相談窓口	18.4%	8. ケアマネジャー（介護支援専門員）	63.6%
2. 地域包括支援センター	32.5%	9. 民生委員・児童委員	1.8%
3. 保健所・保健センター	1.2%	10. 家族や親族	54.8%
4. 社会福祉協議会	3.3%	11. 友人・知人・近隣の人	12.1%
5. 権利擁護センターふちゅう	0.8%	12. その他（具体的に：　）	2.3%
6. 病院・診療所・歯科医・薬剤師など	14.6%	13. 相談できる人がいない	1.3%
7. ホームヘルパー（訪問介護員）	13.0%	無回答	4.3%

問 22 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか（１つに○）（N=1,191）

1. はい（→問22-1へ進む）	22.8%	2. いいえ（→問23へ進む）	65.7%	無回答	11.5%
------------------	-------	-----------------	-------	-----	-------

問 22 で「1」とお答えの方におたずねします

問22-1 差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。（いくつでも○） (n=272)			
1. 自分の健康・病気	62.9%	8. 住まい	21.0%
2. 家族の健康・病気	31.3%	9. お金（財産管理・相続含む）	28.7%
3. 自分の学業・仕事	1.8%	10. 人間関係、人との付き合い方	7.7%
4. 家族の学業・仕事	2.9%	11. 地域の治安のこと	4.4%
5. 自分の障害に関すること	17.6%	12. 災害時の備えに関すること	12.9%
6. 家族の障害に関すること	9.2%	13. 差別や偏見、人権侵害に関すること	1.8%
7. 家族の介護・介助	19.9%	14. その他（具体的に： 無回答	4.4% 1.1%

問 17 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。（３つまでに○）（N=1,191）

1. 自分の楽しみが得られる活動	33.2%	7. 隣近所の人と協力し合える活動	6.5%
2. 興味ある知識や教養が得られる活動	11.9%	8. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動	5.5%
3. 自分の知識や経験をいかせる活動	7.9%	9. 地域や社会に役立つ活動	4.5%
4. 生きがいや健康づくりができる活動	25.4%	10. 行政への協力や地域自治に関わる活動	1.2%
5. 余暇時間を充実させる活動	11.3%	11. その他（具体的に：　）	1.8%
6. 仲間づくりや楽しい友人ができる活動	12.8%	12. 特にない	35.3%
		無回答	8.8%

災害等の対応についておたずねします

問 18 地震等の災害が起こったときにあなたの手助けをしてくれる人はいいますか。（いくつでも○）（N=1,191）

1. 同居の家族	57.3%	5. その他（具体的に：　）	7.0%
2. 別居の家族	39.8%	6. いない	7.6%
3. 近所の人	19.7%	7. 必要ない	0.5%
4. 友人・知人	9.9%	無回答	4.5%

問 19 災害に備えてどのようなことをしていますか。（いくつでも○）（N=1,191）

1. 日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流	17.0%
2. 住民同士で行う防災組織の活動の充実	4.8%
3. 地域での防災訓練への参加のお誘い	5.2%
4. 市が作成した防災ハンドブックやハザードマップ（地震、水害、土砂災害）の確認	34.3%
5. その他（具体的に：　）	6.1%
6. 特にしていない	43.7%
無回答	6.3%

在宅療養についておたずねします

問 23 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいと思いますか。(1つに○)
(N=1,191)

1. そう思う (→問 23-1へ進む)	30.7%
2. そう思わない (→問 23-2へ進む)	32.2%
3. 分からない (→問 24へ進む)	31.8%
無回答	5.2%

問 23で「1. そう思う」とお答えの方におたずねします

問 23-1 ご自宅での療養は可能だと思いますか。(1つに○) (n=366)

1. 可能だと思う (→問 24へ進む)	38.8%
2. 難しいと思う (→問 23-2へ進む)	35.0%
3. 分からない (→問 24へ進む)	24.0%
無回答	2.2%

問 23で「2. そう思わない」又は 問 23-1で「2. 難しいと思う」とお答えの方におたずねします

問 23-2 それはなぜですか。(3つまでに○) (n=512)

1. 在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるか分からないから	25.6%
2. 急に病状が変わったときの対応が不安だから	51.0%
3. 往診・訪問診療してくれる医師がいないから	10.7%
4. 訪問看護や介護の体制が不十分だから	7.0%
5. 家族に負担をかけるから	64.8%
6. 看護や介護してくれる家族がいないから	16.6%
7. 療養できる部屋やトイレなど住環境が整っていないから	14.3%
8. お金がかかるから	16.0%
9. その他 (具体的に：)	3.5%
10. 特に理由はない	1.4%
無回答	3.1%

問 24 あなたは、人生の最期をどうすごしたいか、ご家族等※や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。(1つに○)

※ご家族等の中には、家族以外でも、自分が信頼して自分の医療・療養に関する方針を決めてほしいと思う人(友人、知人)を含みます。
(N=1,191)

1. 詳しく話し合い、意思表示の書面を作成している (→問 25へ進む)	2.6%
2. 詳しく話し合っている (→問 25へ進む)	3.6%
3. 一応話し合っている (→問 25へ進む)	33.2%
4. 話し合ったことはない (→問 24-1へ進む)	49.0%
5. その他 (具体的に：)	1.0%
無回答	10.7%

問 24で「4. 話し合ったことはない」とお答えの方におたずねします

問 24-1 それはなぜですか。(もともとはまるもの1つに○) (n=583)

1. 話し合える相手がいらないから	5.8%
2. 話し合う必要がないから	6.0%
3. 話し合う時間がないから	5.1%
4. 縁起でもないことは考えたくないから	13.4%
5. 自分の最期は家族等の判断に任せているから	54.9%
6. その他 (具体的に：)	10.8%
無回答	3.9%

問 25 市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについて、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

次ページ以降は、あて名の本人を介護する主な介護者がいる方への質問です。
主な介護者がいる方は 12 ページ・問 26 へお進みください。

主な介護者がいない方は以上でアンケートは終わりです。
ご協力ありがとうございます。

同封の返信用封筒 (切手不要) に入れて、11月4日 (火) までに返送してください。

主な介護者の状況や意向についておたずねします

問 26	あて名のご本人を主に介護しているのは、どなたですか。(1つに○)								(n=779)
1. 配偶者	37.1%	4. 娘・息子の配偶者	6.9%	7. 孫					0.8%
2. 娘	34.3%	5. 兄弟・姉妹	3.1%	8. その他の親族					1.4%
3. 息子	16.0%	6. 親	0.5%	9. その他 (具体的に：)					0.0%
				無回答					0.0%
問 27	あて名のご本人を主に介護している方の年齢はおいくつですか。(1つに○)								(n=779)
1. 18歳未満	0.0%	6. 60～64歳	16.7%	11. 85～89歳					7.2%
2. 18～29歳	0.3%	7. 65～69歳	11.7%	12. 90～94歳					2.1%
3. 30歳代	0.4%	8. 70～74歳	9.0%	13. 95歳以上					0.5%
4. 40歳代	4.6%	9. 75～79歳	12.7%	無回答					1.2%
5. 50歳代	24.3%	10. 80～84歳	9.5%						
問 28	あて名のご本人を主に介護している方はどこに住んでいますか。(1つに○)								(n=779)
1. 同じ住宅		4. 府中市内	70.6%						13.9%
2. 同じ住宅ではないが同じ敷地		5. 東京都内	2.1%						6.2%
3. 同じ町内		6. 東京都外 (具体的に：)	1.9%						3.0%
		無回答							2.4%
問 29	あて名のご本人を介護している期間はどのくらいですか。(1つに○)								(n=779)
1. 1年未満	12.5%	3. 3年以上5年未満	24.3%	5. 10年以上					15.7%
2. 1年以上3年未満	23.2%	4. 5年以上10年未満	19.9%	無回答					4.5%
問 30	あて名のご本人の介護に1日に平均してどのくらい関わっていますか。(1つに○)								(n=779)
1. 1時間未満	9.9%	4. 6～10時間未満	8.7%	7. 決まっていない					36.8%
2. 1～4時間未満	17.8%	5. 10時間以上	6.0%	無回答					5.3%
3. 4～6時間未満	8.3%	6. 1日中かかりきり	7.1%						
問 31	今後、あて名のご本人がどこで生活するのが良いと考えていますか。(もともとはまるもの1つに○)								(n=779)
1. 自宅で家族を中心に介護をして過ごさせたい									13.2%
2. 自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせさせて過ごさせたい									40.4%
3. 自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けながら過ごさせたい									3.9%
4. 自分や家族の状況に合わせて介護施設等に短期間泊りながら、自宅で過ごさせたい									11.9%
5. 見守りや生活支援サービスのついでに特老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で過ごさせたい									4.6%
6. 特別養護老人ホームなどの介護施設で過ごさせたい									12.1%
7. 医療機関に入院して介護を受けさせたい									1.7%
8. その他 (具体的に：)									1.2%
9. 分からない									4.7%
									6.3%
									無回答

問 32 介護をしていくうえで、どのようなことに問題がありますか。(いくつでも○)

1. 十分な睡眠時間が確保できない	19.4%	11. 希望するサービスが受けられない	5.0%
2. 精神的に疲れ、ストレスがたまると	51.9%	12. 夜間のサービスが足りない	4.1%
3. 肉体的に疲れ	34.3%	13. 介護従事者のサービスの質が悪い	0.9%
4. 自分の自由な時間がない	31.5%	14. 介護に関して相談する相手がいない	1.8%
5. 家族や自分の仕事に影響がある	22.6%	15. 介護サービスに関する情報が少ない	4.1%
6. 自分以外に介護をする人がいない	32.7%	16. 事業所・医療機関などが家の近くにない	1.2%
7. 介護がいつまで続くのか分からない	39.2%	17. 介護と育児のダブルケアの負担が大きい	1.4%
8. 家族や親族の協力が得られない	7.3%	18. その他 (具体的に：)	3.6%
9. 経済的な負担がかさむ	21.1%	19. 特 に ない	9.4%
10. 介護の方法が分からない	4.4%	無 回 答	10.0%

問 33 介護をしていて良かったと思うことはどのようなことですか。(いくつでも○)

1. あて名ご本人とコミュニケーションができた	33.8%
2. 仕事や生き方の見直しにつながった	13.4%
3. 介護の専門職から知識を得られた	25.5%
4. 地域のことを理解できるようになった	5.8%
5. 同じ経験を仲間と交流できた	5.8%
6. 介護の技術を学ぶことができた	8.3%
7. 介護保険制度が理解できた	24.8%
8. その他 (具体的に：)	2.3%
9. 特 に ない	22.8%
無 回 答	13.0%

問 34 介護者支援策として必要だと思うのはどれですか。(3つまでに○)

1. 介護者に対する定期的な情報提供	33.6%
2. 介護等に関する情報へのアクセスのしやすさ (探しやすさ、分かりやすさ)	26.2%
3. 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	27.6%
4. リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供	7.8%
5. 電話や訪問による相談サービス	15.4%
6. 本人や介護者が集まって話せる場づくり	3.9%
7. 家族会や介護者の自助グループ	1.2%
8. 在宅介護者への手当	27.3%
9. 介護休業取得者のいる企業への支援制度	5.3%
10. 介護者が仕事と介護の両立ができる支援制度、再就職支援策	18.9%
11. 介護者の経験をいかした介護問題への発言の場づくり	2.2%
12. その他 (具体的に：)	4.5%
無 回 答	16.4%

問 35 介護者が感じている介護の問題、経済的負担、遠距離介護や呼び寄せ介護の問題、市へのご意見・ご要望等ございましたらご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、11月4日（火）までに返送してください。

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[]

- 【A 票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）（N＝457）
- 1. 調査対象者本人 16.8%
 - 2. 主な介護者となつてゐる家族・親族 87.7%
 - 3. 主な介護者以外の家族・親族 9.2%
 - 4. 調査対象者のケアマネジャー 1.8%
 - 5. その他 0.4%
 - 無回答 0.2%

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

- 問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)（N＝457）
- 1. 単身世帯 17.3%
 - 2. 夫婦のみ世帯 26.5%
 - 3. その他 56.0%
 - 無回答 0.2%

- 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)（N＝457）
1. ない 3.3%

2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない 5.7%

3. 週に1～2日ある 11.4%

4. 週に3～4日ある 5.9%

5. ほぼ毎日ある 73.7%

無回答 0.0%
- 問8(裏面)へ

問3～問13へ

- 問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つを選択)（n＝416）
- 1. 配偶者 33.4%
 - 2. 子 56.3%
 - 3. 子の配偶者 5.3%
 - 4. 孫 0.0%
 - 5. 兄弟・姉妹 1.4%
 - 6. その他 2.2%
 - 無回答 1.4%

- 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)（n＝416）
- 1. 男性 26.7%
 - 2. 女性 73.1%
 - 無回答 0.2%

- 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)（n＝416）
- 1. 20歳未満 0.2%
 - 2. 20代 0.0%
 - 3. 30代 1.0%
 - 4. 40代 3.1%
 - 5. 50代 27.9%
 - 6. 60代 28.6%
 - 7. 70代 20.0%
 - 8. 80歳以上 16.1%
 - 9. わからない 2.9%
 - 無回答 0.2%

- 問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください(複数選択可)（n＝416）

【身体介護】

- 1. 日中の排泄 27.9%
- 2. 夜間の排泄 18.0%
- 3. 食事の介助(食・べる時) 19.7%
- 4. 入浴・洗身 24.8%
- 5. 身だしなみ(洗頭・歯磨き等) 27.9%
- 6. 衣服の着脱 38.0%
- 7. 屋内の移乗・移動 25.5%
- 8. 外出の付き添い、送迎等 71.9%
- 9. 服薬 56.5%
- 10. 認知症状への対応 39.9%
- 11. 図柄面での対応(嚥下・歩行・スロープ等) 6.5%

【生活援助】

- 12. 食事の準備(調理等) 76.4%
- 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 92.1%
- 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 82.2%

【その他】

- 15. その他 2.4%
- 16. わからない 0.0%
- 無回答 0.0%

- 問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)（n＝416）

- 1. 主介護者が仕事を辞めた(専任職) 6.0%
- 2. 主介護者以外の家族親族が仕事を辞めた(兼職) 0.2%
- 3. 主な介護者が転職した 1.2%
- 4. 主介護者以外の家族親族が転職した 0.5%
- 5. 介護のために仕事を辞めた家族親族がいない 86.1%
- 6. わからない 4.8%
- 無回答 1.4%

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

● ここから再び、全員に調査してください。

- 問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください(複数選択可)（N＝456）
- 1. 配食 11.6%
 - 2. 調理 0.9%
 - 3. 掃除・洗濯 2.0%
 - 4. 買い物(宅配を含む) 0.9%
 - 5. ゴミ出し 0.0%
 - 6. 外出同行(通院、買い物など) 0.9%
 - 7. 移動サービス(介護福祉タクシー等) 4.2%
 - 8. 見守り、声かけ 1.8%
 - 9. サロンなどの定時対応、の場 2.0%
 - 10. その他 6.4%
 - 11. 利用していない 74.3%
 - 無回答 0.7%
- ※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

- 問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください(複数選択可)（N＝456）

- 1. 配食 17.1%
- 2. 調理 9.0%
- 3. 掃除・洗濯 11.4%
- 4. 買い物(宅配を含む) 9.9%
- 5. ゴミ出し 6.4%
- 6. 外出同行(通院、買い物など) 22.8%
- 7. 移動サービス(介護福祉タクシー等) 25.0%
- 8. 見守り、声かけ 18.4%
- 9. サロンなどの定時対応、の場 8.6%
- 10. その他 6.6%
- 11. 利用していない 35.5%
- 無回答 0.0%

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

- 問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)（N＝457）
- 1. 入所・入居を検討していない 76.1%
 - 2. 入所・入居を検討している 20.1%
 - 3. すでに入所・入居申し込みをしている 2.6%
 - 無回答 1.2%

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択) (N=442)

1. フルタイムで働いている	26.9%	問2～問5へ
2. パートタイムで働いている	22.9%	
3. 働いていない	49.1%	問5(裏面)へ
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	1.1%	
無回答	0.0%	

※「パートタイム」とは、「1 週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(複数選択可) (n=220)

1. 特に行っていない	30.5%
2. 介護のために、「労働時間調整（残業、短時間勤務、通出・早退・中抜）等」しながら、働いている	37.3%
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	25.9%
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	6.8%
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている	12.7%
6. 主な介護者に確認しないと、わからない	0.0%
無回答	0.0%

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで選択可) (n=220)

1. 自営業・フリーランサー等のため、働き始めやすい	9.1%	2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実	39.1%
3. 制度を利用しやすい（職場づくり）	26.8%	4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	37.3%
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	15.0%	6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供	7.7%
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者 の設置	11.4%	8. 介護をしている従業員への経済的な支援	17.7%
9. その他	1.8%	10. 特にない	20.0%
11. 主な介護者に確認しない、わからない	0.9%	無回答	0.0%

問4 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるかどうか(1つを選択) (n=220)

1. 問題なく、続けていく	22.7%	2. 問題はあるが、何とか続けていく	59.1%
3. 続けていくのは、やや難しい	8.6%	4. 続けていくのは、かなり難しい	6.4%
5. 主な介護者に施設しないと、わからない	2.7%	無回答	0.5%

皆様、裏面くお進みください↑↑

4

問 11 ご本人(認定調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください(複数選択可) (N=456)

1. 脳血管疾患(脳卒中)	16.7%	2. 心疾患(心臓病)	22.8%
3. 悪性新生物(がん)	9.0%	4. 呼吸器疾患	8.3%
5. 腎疾患(透析)	3.7%	6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、骨密度低下等)	21.3%
7. 膠原病(関節リウマチ含む)	4.2%	8. 変形性関節疾患	12.3%
9. 認知症	31.6%	10. パーキンソン病	5.0%
11. 糖尿病(パーキンソン病を除く)	4.2%	12. 糖尿病	15.6%
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	18.9%	14. その他	18.9%
15. なし	2.2%	16. わからない	0.7%
		無回答	0.0%

問 12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

1. 利用している	17.8%	2. 利用していない	82.0%
		無回答	0.2%

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導は含みません。

問 13 現在、(住宅改修・福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(1つを選択) (N=457)

問題13で「2.」を回答した場合は、問題14も調査してください。

回答	割合
1. 利用している	69.4%
2. 利用していない	30.6%
無回答	0.0%

(n=139)

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか(複数選択可)

1. 現状では、サーバを利用するだけの状態である、	33.8%	2. 本にサーバ利用の希望はない、	28.8%
3. 家族の習慣を断つため必要ない、	15.1%	4. 以前利用していたサーバに不満があった、	0.0%
5. 利用料を支払うのが難しい、	1.4%	6. 利用したいサーバが利用できない、身元がない、	5.8%
7. 自宅や施設で利用可能なサーバを利用するため、	9.4%		
8. サーバを受けたいが事業や利用方法がわからない、	7.2%	9. その他、	17.3%
		無回答	0.0%

●問2で「2.」「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の

方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

●「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人（調査対象者の方）にご回答・ご記入をお願いしていただく（ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です）。

3

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください
(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可) (N=442)

【身体介護】

1. 日中の排泄	22.9%	2. 夜間の排泄	29.2%
3. 食事の介助(食べる時)	7.2%	4. 入浴・洗身	24.7%
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6.3%	6. 衣服の着脱	4.5%
7. 屋内の移乗・移動	14.7%	8. 外出の付き添い、送迎等	29.4%
9. 服薬	12.0%	10. 認知症状への対応	41.9%
11. 困窮面での対応(経管栄養、スローマ 等)	3.8%		

【生活援助】

12. 食事の準備(調理等)	13.8%	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)	14.0%
14. 金銭管理や生活面に必要な手続き	10.0%		

【その他】

15. その他	2.5%	16. 不安に感じていることは、特になし	6.1%
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	0.7%		
無回答	1.8%		

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

介護保険サービス提供事業者調査

＜調査についてのお願ひ＞

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、令和8年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、府中市内で介護予防・居宅介護サービスを提供する事業者及び施設サービス提供事業者にお願ひをさせていただき、実施するものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「個人情報保護に関する法律」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年10月 府中市

※この調査はインターネット及び郵送のいずれかでご回答いただけます。
調査の流れにつきましては、次ページに記載がございますので、ご確認をお願いいたします。

回答に当たってのお願い

1. 調査基準日は、令和7年10月1日とします。（期日の指定のあるものを除く）
2. 法人全体ではなく、貴事業所について、ご記入をお願いいたします。
3. 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数は、それぞれの設問の指示に従ってください。また、「3つまでに○」など、○の数が指定されている設問は、あなたの考えに近いものや優先したいものを選んでご回答ください。
4. の場合は回答内容等を記入してください。
5. 「その他」に○印をつけた場合は、 内に内容を具体的に記入してください。
6. 調査票の回答にかかる時間は、およそ30分です。

11月4日（火）までに、ご回答いただくようお願いいたします。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課
地域包括ケア推進係
電話（042）335-4537（直通）
E-mail：kourei01@city.fuchu.tokyo.jp

インターネット回答用 ID
B0000



インターネット（パソコン・スマートフォン等）で答える

①調査票サイトにアクセスする

以下のURLか二次元コードを読み取り、調査票サイトにアクセスします。



URL：https://jp.surveymonkey.com/r/LHSFVN9

②ログイン・回答する

調査票サイトのはじめに、表紙（前ページ）の右下に記載している「インターネット回答用 ID」を入力し回答を開始してください。

調査票の表紙右下に記載がある「インターネット回答用 ID」を入力してください。

ID

【インターネット回答に関するご注意】

1. 回答内容は途中で保存されないため、時間に余裕を持って開始し、最後まで回答を完了していただくようお願いいたします。
2. 同じ端末で複数のサービス種別（複数の調査票）について回答する場合は、はじめのサービス種別の回答を完了してから、次のサービス種別をご回答ください。
3. インターネットで回答した場合は調査用紙の提出は不要です。
4. 「インターネット回答用 ID」は無作為に配布していますので、事業所を特定するものではありません。どの事業所がどのIDであるかは照合できません。



調査票に記入して郵送で答える

1. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
2. 回答のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。（切手は不要です。差出人名は無記名で結構です。）

貴事業所の概要についておたずねします

問1 貴事業所が府中市内で提供しているサービス（予防を含む）は次のうちどれですか。

(1) 封筒のあて名に記載されている事業所が提供するサービスの種別に○をつけてください。

(1つに○)			(N=195)
1. 訪問介護	17.9%	12. 介護老人保健施設	0.5%
2. 訪問看護	11.8%	13. 夜間対応型訪問介護	0.5%
3. 訪問リハビリテーション	2.1%	14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2.1%
4. 訪問入浴介護	0.5%	15. 看護小規模多機能型居宅介護	0.5%
5. 通所介護	10.8%	16. 小規模多機能型居宅介護	1.5%
6. 通所リハビリテーション	2.1%	17. 地域密着型通所介護	7.2%
7. 短期入所生活介護	3.6%	18. 認知症対応型通所介護	2.1%
8. 短期入所療養介護	0.0%	19. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	3.1%
9. 特定施設入居者生活介護	5.6%	20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1.0%
10. 福祉用具	5.6%	21. 居宅介護支援事業所	14.9%
11. 介護老人福祉施設	2.6%	22. その他（具体的に： 無回答	3.6% 0.5%

(2) 上記以外の介護保険サービスを提供していますか。(いくつでも○)

1. 訪問介護	13.3%	12. 介護老人保健施設	1.0%
2. 訪問看護	7.2%	13. 夜間対応型訪問介護	1.5%
3. 訪問リハビリテーション	2.1%	14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	4.1%
4. 訪問入浴介護	0.5%	15. 看護小規模多機能型居宅介護	0.5%
5. 通所介護	2.6%	16. 小規模多機能型居宅介護	1.5%
6. 通所リハビリテーション	1.0%	17. 地域密着型通所介護	1.5%
7. 短期入所生活介護	6.7%	18. 認知症対応型通所介護	1.5%
8. 短期入所療養介護	0.5%	19. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	1.5%
9. 特定施設入居者生活介護	0.5%	20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.0%
10. 福祉用具	0.0%	21. 居宅介護支援事業所	8.7%
11. 介護老人福祉施設	3.6%	22. その他（具体的に： 無回答	3.1% 61.0%

(3) 介護保険以外のサービスを提供されていますか。(いくつでも○)

1. 介護保険以外の高齢者福祉サービス	16.4%
2. 障害者総合支援法などのサービス	18.5%
3. 子育て支援などのサービス	3.1%
4. その他（具体的に： 無回答	11.3% 63.1%

事業運営についておたずねします

問2 貴事業所の昨年度の事業採算について、お答えなればお答えください。(1つに○) (N=195)

1. 黒字	39.5%	3. 損益なし	10.3%
2. 赤字	34.4%	4. その他（具体的に： 無回答	1.5% 14.4%

問3 貴事業所に所属する職員について、お伺いします

※ここでの「職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含まません。)

(1) 職員の総数を、ご記入ください。(令和7年10月1日時点)。

※前月に出勤のない、長期休暇(育児休業等)中の職員は人数に含まないでください。

※「外国人」には、EPA(経済連携協定)に基づく外国人介護福祉士候補者・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。
(n=188) ※無回答のぞく

職員の総数	〔 17.57 〕 人	左記のうち外国人	
		〔 0.96 〕 人	〔 0.87 〕 人

(2) 過去1年間(令和6年10月1日～令和7年9月30日)の職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。
(n=188) ※無回答のぞく

	採用者数		離職者数	
	〔 2.27 〕 人	〔 1.73 〕 人	〔 1.81 〕 人	〔 1.81 〕 人

(3) (2)の採用者・離職者数について、常勤・非常勤の別・職種(業務区分)別をご記入ください。

(n=188) ※無回答のぞく	採用者数		離職者数	
	常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
ケアマネジャー (介護支援専門員)	〔 0.25 〕 人	〔 0.16 〕 人	〔 0.21 〕 人	〔 0.17 〕 人
生活相談員	〔 0.22 〕 人	〔 0.14 〕 人	〔 0.13 〕 人	〔 0.11 〕 人
看護師・准看護師	〔 0.45 〕 人	〔 0.45 〕 人	〔 0.39 〕 人	〔 0.33 〕 人
福祉施設介護職員	〔 0.74 〕 人	〔 0.60 〕 人	〔 0.65 〕 人	〔 0.68 〕 人
ホームヘルパー (訪問介護員)	〔 0.49 〕 人	〔 0.54 〕 人	〔 0.38 〕 人	〔 0.40 〕 人
理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	〔 0.28 〕 人	〔 0.19 〕 人	〔 0.24 〕 人	〔 0.19 〕 人
機能訓練指導員	〔 0.13 〕 人	〔 0.13 〕 人	〔 0.12 〕 人	〔 0.11 〕 人
その他	〔 0.30 〕 人	〔 0.43 〕 人	〔 0.28 〕 人	〔 0.42 〕 人

問5 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください（令和7年10月1日時点）。

(1) 資格の取得、研修の修了の状況（番号1つ記載）	(N=1,421)
1. 介護福祉士（認定介護福祉士含む）	61.6%
2. 介護職員実務者研修修了または（旧）介護職員基礎研修修了または（旧）ヘルパー1級	7.2%
3. 介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級	19.6%
4. 上記のいずれも該当しない 無回答	11.5% 0.0%
(2) 雇用形態（番号1つ記載）	(N=1,421)
1. 常勤職員	51.5%
2. 非常勤職員	48.4%
無回答	0.1%
(3) 性別（番号1つ記載）	(N=1,421)
1. 男性	26.6%
2. 女性	73.4%
無回答	0.0%
(4) 年齢（番号1つ記載）	(N=1,421)
1. 20歳未満	0.3%
2. 20代	6.9%
3. 30代	11.3%
4. 40代	21.0%
5. 50代	27.2%
6. 60代	21.8%
7. 70代以上	11.0%
8. 不明	0.3%
無回答	0.1%
(5) 過去1週間の勤務時間（数値を記入）	(N=1,421)
1. 8時間未満	13.2%
2. 8時間以上16時間未満	9.9%
3. 16時間以上24時間未満	8.0%
4. 24時間以上32時間未満	8.1%
5. 32時間以上40時間未満	11.6%
6. 40時間以上48時間未満	45.2%
7. 48時間以上	1.4%
無回答	2.5%
(6) 現在の施設での勤務年数（番号1つ記載）	(N=1,421)
1. 1年以上	83.3%
2. 1年未満	14.8%
無回答	2.0%

問5（6）で「2. 1年未満」に該当する職員についておたずねします

(7) 現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む（番号1つ記載）	(n=210)
1. 現在の職場が初めての勤務先	14.3%
2. 介護以外の職場	27.6%
3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設	24.3%
4. 訪問介護・入浴、夜間対応型	11.0%
5. 小多機、看多機、定期巡回サービス	4.8%
6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ	5.2%
7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外）	6.7%
8. その他の介護サービス 無回答	5.2% 1.0%

(4) 把握している範囲で結構ですので、離職理由についてお答えください。（いくつでも○）（N=195）

1. 結婚	0.5%	10. いろいろな職場の経験希望	12.3%
2. 出産・育児	3.6%	11. 起業・開業	3.1%
3. 家族等の介護・看護	14.4%	12. 心身の不調、高齢	31.8%
4. 労働時間・勤務体制が負担	9.2%	13. 職場の人間関係の問題	11.3%
5. 収入が少くない	11.3%	14. 利用者・家族との関係の問題	3.6%
6. 家族の転勤・転居	5.6%	15. 法人・事業所の理念や運営に不満	6.7%
7. 専門性や能力を十分に発揮・向上できない	2.6%	16. 人員整理、勤怠取組、事業不振等	0.0%
8. 将来のキャリアアが見込めない	2.6%	17. ICTについていけない	2.1%
9. 新しい資格を取得した	1.5%	18. その他（具体的に：）	17.4%
無回答			25.6%

(5) 貴事業所で、離職者が出ないようにしている工夫についてお答えください。（いくつでも○）（N=195）

1. 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を考慮	62.1%
2. 時間外労働時間の削減	51.3%
3. 年次有給休暇等の取得促進	64.6%
4. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）	25.1%
5. 感染症予防対策	28.2%
6. 職員間における、いじめやハラスメント等への体制整備	40.0%
7. メンタルヘルス対策	31.3%
8. 育児・介護等の休暇制度の活用奨励	30.8%
9. 子育て支援（託児所を設ける、保育費用の助成など）や介護支援	12.3%
10. 多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務など）の導入	36.9%
11. 新人の指導担当・アドバイザーの配置（メンター制度など）	19.5%
12. キャリアパスの作成と実施	23.1%
13. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映	29.7%
14. キャリアに応じた給与体系の整備	23.1%
15. 経営者や役員との意見交換がしやすい職場環境づくり	25.1%
16. 定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくり	54.4%
17. 福利厚生の実施	23.6%
18. 情報通信機器を活用した業務の効率化、省力化	31.3%
19. 特に行っていない	1.0%
20. その他（具体的に：）	3.6%
無回答	4.6%

問4 貴事業所では、職員の処遇改善を行ううえで、どのような課題があると考えていますか。（いくつでも○）（N=195）

1. 事業の安定経営が最優先で、職員の処遇改善にまで至らない	23.6%
2. 職員の処遇改善をしても、人材確保や定着率向上に結びつかない	36.9%
3. この間の制度改正や介護報酬改正を踏まえると、給与体系まで手が回らない	23.1%
4. 特にない	22.1%
5. その他（具体的に：）	7.7%
無回答	6.7%

問5 (7) で「3」～「8」に該当する職員についておたずねします	
(8①) 直前の職場について (番号1つ記載)	
1. 現在の施設等と、同一の市区町村内	(n=120)
2. 現在の施設等と、別の市区町村内	36.7%
3. 不明	51.7%
無回答	5.0%
	6.7%
(8②) 直前の職場について (番号1つ記載)	
1. 現在の施設等と、同一の法人・グループ	(n=120)
2. 現在の施設等と、別の法人・グループ	24.2%
3. 不明	56.7%
無回答	0.8%
	18.3%

サービス提供における課題をおたずねします	
問6 サービス提供で困難だったケースがありましたか。(1つに○)	
1. ある (あった) (→問6-1、問6-2へ進む)	(N=195)
2. ない (→問7へ進む)	66.2%
無回答	30.3%
	3.6%
問6で「1. ある (あった)」とお答えの事業所におたずねします	
問6-1 それはどのようなケースですか。(いくつでも○)	
1. ひとり暮らしで親族と連絡がとりにくいケース	(n=129)
2. 認知症の症状が進行し急変する方のケース	49.6%
3. 病識がなくサービスの拒否があるケース	39.5%
4. 胃ろうなどの医療処置を受けているケース	45.7%
5. 個別サービス計画の内容について本人と家族からの理解が得られないケース	4.7%
6. 個別サービス計画の内容について本人と家族の意見が合わないケース	14.0%
7. 必要なサービスが不足していてサービスが受けられないケース	15.5%
8. 家族に障害や精神疾患があるケース	14.7%
9. 老老介護、認知介護などの世帯のケース	36.4%
10. 虐待を受けている、又はその疑いのあるケース	31.0%
11. 消費者被害や詐欺被害を受けている又はその疑いのあるケース	23.3%
12. 飲酒や喫煙など生活面で問題があるケース	10.1%
13. 経済に困窮し生活支援が必要なケース	20.9%
14. 住宅に困窮し生活支援が必要なケース	31.0%
15. 利用料滞納者のケース	6.2%
16. 施設や病院から退所・退院したばかりのケース	24.8%
17. ターミナルケアを受けているケース	8.5%
18. 介護保険制度への理解が難しいケース	8.5%
19. その他 (具体的に：)	38.0%
無回答	7.8%
	3.1%

問6-2 前記のケース対応にあたり、必要な行政支援としてどのようなことが考えられますか。
具体的に書きください。

問7 担当している地域で、事業所数もしくは定員など、(1) 量的に不足していると感じるサービス、また、(2) ケアプランに組み入れにくいサービス、(3) 今後必要性がより高まると思われるサービスはありますか。

((1) から (3) について、それぞれ3つまでの1～25より選んで番号を記入) (N=195)

(1) 量的に不足しているサービス			
(2) ケアプランに組み入れにくいサービス			
(3) 今後必要性がより高まると思われるサービス			
1. 訪問介護	29.2%、2.1%、32.3%	14. 介護老人福祉施設	6.7%、0.5%、10.3%
2. 訪問看護	6.2%、1.0%、14.4%	15. 介護老人保健施設	4.6%、1.0%、2.6%
3. 訪問リハビリテーション	7.7%、6.2%、5.6%	16. 介護医療院	8.2%、2.6%、7.7%
4. 訪問入浴介護	7.2%、2.6%、5.1%	17. 夜間対応型訪問介護	11.8%、6.2%、15.4%
5. 居宅療養管理指導	2.1%、2.1%、2.6%	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
6. 通所介護	3.6%、0.0%、5.6%		9.2%、8.2%、18.5%
7. 通所リハビリテーション	5.1%、1.0%、5.1%	19. 小規模多機能型居宅介護	5.1%、7.2%、7.7%
8. 短期入所生活介護	2.1%、0.0%、5.1%	20. 看護小規模多機能型居宅介護	5.1%、4.6%、8.7%
9. 短期入所療養介護	3.6%、3.1%、2.1%	21. 地域密着型通所介護	2.1%、0.0%、3.6%
10. 特定施設入居者生活介護	2.1%、0.0%、4.1%	22. 認知症対応型通所介護	10.8%、3.1%、9.2%
11. 福祉用具の貸与	1.0%、0.0%、1.5%	23. 認知症対応型共同生活介護	4.6%、2.1%、8.7%
12. 特定福祉用具購入	0.0%、0.0%、1.5%	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	
13. 住宅改修費の支給	0.0%、0.0%、1.5%		0.0%、0.0%、1.0%
	25. 特になし		20.0%、43.6%、10.3%
	無回答		17.9%、27.2%、15.9%

問8 貴事業所では介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」）のサービスを提供していますか。(1つに○) (N=195)

1. 訪問型 (→問8-1、問8-2へ進む)	26.7%	3. 提供していない (→問8-3へ進む)	50.3%
2. 通所型 (→問8-1、問8-2へ進む)	16.9%	無回答	6.2%

問8で「1」又は「2」(提供している)とお答えの事業所におたずねします

問8-1 総合事業のサービスを提供しているうえで、どのような課題がありますか。(いくつでも○) (n=85)	
1. 職員の人数不足	48.2%
2. 職員の技術不足	7.1%
3. サービス終了につなげること	11.8%
4. 利用者宅までの移動や送迎	7.1%
5. 特定の日・曜日等への利用希望者の集中	16.5%
6. 総合事業の制度理解	20.0%
7. サービスコストが複雑	11.8%
8. 報酬額の低さ	64.7%
9. 特になし	8.2%
10. その他 (具体的に：)	3.5%
無回答	1.2%

問8-2 貴事業所で提供しているサービスについて、今後、どのように考えていますか。(1つに○) (n=85)

1. 現状維持で考えている	65.9%	3. 事業規模の縮小を考えている	7.1%
2. 事業規模の拡大を考えている	23.5%	4. その他 (具体的に：)	2.4%
	無回答		1.2%

問8で「3. 提供していない」とお答えの事業所におたずねします

問8-3 総合事業のサービスを提供しない理由は何ですか。(いくつでも○) (n=98)	
1. 職員の人数不足	30.6%
2. 報酬額の低さ	29.6%
3. 訪問・通所事業を提供していない	19.4%
4. 総合事業の制度がよく分からない	8.2%
5. 指定申請に係る手続きの煩雑さ	
6. 現状で受入可能人数一杯までの利用者がいる	7.1%
7. 特になし	21.4%
8. その他 (具体的に：)	16.3%
無回答	6.1%

サービスの質の向上と人材確保に向けた取組をおたずねします

問9 貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。(いくつでも○) (N=195)	
1. 第三者評価の実施	23.1%
2. 専門家、コンサルタントの活用	4.6%
3. ISO等品質管理に対する認証取得	5.1%
4. 苦情事例等の活用・蓄積	28.7%
5. 事業所内での検討会	54.4%
6. 内部研修の実施	58.5%
7. OJTの充実	29.7%
8. 手引書の作成や見直し	25.6%
9. 外部研修会への出席	37.9%
10. 人材の確保	39.5%
11. スタッフの資格取得への支援	39.0%
12. 事業者間の交流	26.2%
13. サービス事業者の連絡会等への出席	32.3%
14. 利用者調査の実施	12.8%
15. 介護情報の公表	31.3%
16. その他 (具体的に：)	2.1%
無回答	5.6%

問10 貴事業所における現在の職員の過不足についてお答えください。(1つに○) (N=195)	
1. 大変不足している	17.4%
2. 不足している	46.7%
3. 適当である	30.3%
4. 過剰である	
5. 大変過剰である	0.5%
無回答	4.6%

問11 貴事業所において、特に人材確保の困難な職種はどれですか。(いくつでも○) (N=195)	
1. ケアマネジャー (介護支援専門員)	23.1%
2. 介護福祉士	45.1%
3. ホームヘルパー (訪問介護員)	26.7%
4. 介護職 (資格なし)	13.8%
5. 社会福祉士	1.5%
6. 医師	0.0%
7. 看護師・准看護師	26.2%
8. 保健師	0.0%
9. 薬剤師	0.0%
10. 理学療法士	7.2%
11. 作業療法士	7.7%
12. 言語聴覚士	3.6%
13. 機能訓練指導員	6.2%
14. 管理栄養士・栄養士	1.0%
15. 音楽療法士	0.0%
16. あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	0.0%
17. 事務職	5.1%
18. 特になし	8.7%
19. その他 (具体的に：)	5.1%
無回答	5.6%

問 15 事業所内での講習会・研修（基準や加算に位置付けられている研修以外）は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的に教えてください。（1つに○）（N=195）

1. 十分実施できている	20.0%
2. 十分ではないが実施できている	67.7%
3. ほとんど実施できていない（理由：）	7.7%
4. その他（具体的に：）	1.0%
無回答	3.6%

問 16 外部の研修や事例検討、勉強会について、非常勤を含む職員が積極的に参加できよう支援していますか。支援していない・できない場合は、その理由を具体的に教えてください。（1つに○）（N=195）

1. 支援している	21.5%
2. 十分ではないが支援している	54.4%
3. ほとんど支援していない（理由：）	6.7%
4. 支援したいができない（理由：）	9.2%
5. その他（具体的に：）	4.1%
無回答	4.1%

問 17 貴事業所の職員に必要なと考えられる研修はどのような内容ですか。（いくつでも○）（N=195）

1. 基本的介護技術に関する研修	29.7%	14. 事業所や地域のネットワークに関する研修	13.8%
2. 口腔機能に関する研修	17.9%	15. 個人情報・プライバシーに関する研修	26.2%
3. 喀痰吸引等に関する研修	13.3%	16. 介護保険制度に関する研修	39.5%
4. 緊急時対応・事故対応に関する研修	47.7%	17. 介護報酬・指定基準に関する研修	19.0%
5. 認知症ケア・認知症施策に関する研修	53.3%	18. 終末期に関する研修	31.8%
6. 感染症対策に関する研修	37.4%	19. 薬の知識	29.7%
7. 高齢者虐待上・身体虐待防止に関する研修	37.9%	20. 医学の基礎知識	25.6%
21. 精神保健（心のケア）に関する研修		25. 6%	
8. リハビリテーション	22.6%	22. 特にならない	2.1%
（運動機能向上・維持など）に関する研修		23. その他（具体的に：）	4.6%
9. 介護予防に関する研修	15.4%	無回答	5.1%
10. ケアプラン等に関する研修	26.7%		
11. 介護従事者の腰痛予防に関する研修	21.0%		
12. ストレスマネジメントに関する研修	30.8%		
13. 介護員養成研修	9.7%		
（介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修）			

問 18 貴事業所では福祉サービス第三者評価※を受審したことがありますか。（1つに○）
※第三者の目から見た評価結果を幅広く利用者や事業者に公表することにより、利用者に対する情報提供を行うとともに、サービスの質の向上に向けた事業者の取り組みを促すことで、利用者本位の福祉の実現を目指すもの。（N=195）

1. ある	28.2%	2. ない	59.5%	3. 知らない	7.2%	無回答	5.1%
-------	-------	-------	-------	---------	------	-----	------

問 12 人材を確保するためにどのような取組を行っていますか。（いくつでも○）（N=195）

1. 新規採用枠の拡大	26.7%	10. 資格取得の支援	30.3%
2. 中途採用枠の拡大	37.9%	11. 苦情・相談体制の充実	9.7%
3. 人材派遣スタッフの活用	17.9%	12. 職員の助け合い制度	6.7%
4. 外国人スタッフの活用	13.8%	（具体的に：）	
5. スポットワーカーの採用	9.7%	13. 同事業所内で人員確保	15.9%
6. 就業時間の見直し	10.3%	14. 社外の協力体制の整備	3.1%
7. 福利厚生充実	16.4%	15. 求人広告掲載	28.7%
8. 賃金面の充実	22.1%	16. その他（具体的に：）	7.7%
9. 研修会への参加支援	16.9%	無回答	11.3%

問 13 人材の確保・育成、定着促進、環境改善のために有効と考えられる支援策はどのようなものですか。（3つまでに○）（N=195）

1. 人材育成や研修の専門家の派遣	10.3%
2. 離職率改善事例の紹介	6.7%
3. 離職した介護従事者などの潜在的有資格者が職場復帰した事例の紹介	5.6%
4. 福利厚生の充実支援	27.7%
5. 研修時の代替職員確保の支援	8.7%
6. 処遇改善のための助成	55.9%
7. 退職金や企業年金など各種諸手当の助成	26.7%
8. 介護職員のための住宅確保・助成	18.5%
9. メンタルヘルスや雇用環境に関する相談窓口の設置	14.9%
10. ICT等の活用支援（業務の効率化、利用者情報の共有、医療連携、介護連携など）	20.5%
11. 介護ロボットの活用支援	3.1%
12. 資格が必要としない生活支援の担い手（市民）の育成	6.2%
13. 外国人労働者の登用	7.7%
14. 資格取得助成金	16.4%
15. その他（具体的に：）	6.2%
無回答	5.6%

問 14 職員の研修・教育等に関して困っていることは何ですか。（いくつでも○）（N=195）

1. 人材育成のための時間がない	43.6%	6. 採用時期が別々で効果的な育成ができない	13.3%
2. 人材育成のための費用に余裕がない	23.6%	7. 育成してもすぐに辞めてしまう	23.6%
3. 職員の自己啓発への意欲が低い	32.3%	8. 研修を受講させる人的な余裕がない	27.2%
4. 人材育成の優先順位が低い	7.2%	9. 特にならない	16.9%
5. 指導できる人材が少ない、又は、いない	29.2%	10. その他（具体的に：）	3.6%
		無回答	6.2%

認知症のある利用者のサービス利用についておたずねします

問 19 認知症のある利用者の状況で、実際にあることは次のどれですか。またそのうち、最も大変なこととはどれですか。(いくつでも○、最も大変なこと◎)
(N=195)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない	36.4%	7.2%
2. 本人の意思の確認がとれない	61.0%	10.8%
3. 家族が認知症であることを認めない	38.5%	8.7%
4. 薬の飲み間違えがあった、服薬管理ができない	39.0%	2.6%
5. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる	18.5%	3.1%
6. 認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される	53.8%	23.6%
7. 消費者被害に遭遇している	10.8%	0.0%
8. 虐待を受けている	12.3%	0.0%
9. 本人や家族間で介護の方針が食い違う	40.5%	10.3%
10. 身体疾患があり医療的な管理が難しい	13.3%	4.1%
11. その他 (具体的に:)	5.1%	1.5%
無回答	6.7%	28.2%

問 20 貴事業所では、認知症のある利用者の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○)
(N=195)

1. とれている	25.6%	4. とれていない	7.2%
2. まあまあとれている	31.8%	5. どちらともいえない	14.9%
3. あまりとれていない	16.9%	無回答	3.6%

問 21 今後、認知症のある利用者の支援にあたり、必要になることは次のどれですか。(3つまでに○)
(N=195)

1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること	32.8%
2. 認知症のある人を支援する社会資源 (施設、サービス) がより増えていくこと	46.7%
3. 認知症の検診や早期診断を担う医療機関が増えていくこと	27.7%
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること	15.9%
5. かかりつけ医やケアマネジャー (介護支援専門員) の認知症に対する理解と対応が向上すること	23.6%
6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと	19.5%
7. 専門機関同士の連携が進むこと	17.4%
8. 認知症初期集中支援チームなどがつくられ早期からアセスメントや支援が行われること	11.8%
9. 認知症のある人やその家族に対する支援が充実していくこと	41.0%
10. その他 (具体的に:)	4.6%
無回答	4.6%

医療と介護の連携の状況についておたずねします

問 22 府中市民の在宅療養を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。
(1つに○)
(N=195)

1. 十分連携していると思う (→問 23 へ進む)	6.2%
2. ある程度連携していると思う (→問 23 へ進む)	58.5%
3. 連携が不十分であると思う (→問 22-1 へ進む)	17.9%
4. ほとんど連携していないと思う (→問 22-1 へ進む)	4.1%
5. どちらともいえない (→問 23 へ進む)	8.7%
無回答	4.6%

問 22 で「3」又は「4」とお答えの事業所におたずねします

問 22-1 そのように考える理由は何ですか。(いくつでも○)
(n=43)

1. 医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない	48.8%
2. お互いに多忙で連絡がとれない	51.2%
3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない	18.6%
4. 交流の場がない	41.9%
5. 誰と連絡をとればよいのか分からない	32.6%
6. 医学知識や医療制度が分からない	16.3%
7. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している	48.8%
8. その他 (具体的に:)	9.3%
無回答	0.0%

問 23 医療機関やかかりつけ医と通常どのような方法で情報を交換していますか。(いくつでも○)
(N=195)

1. 電話	72.8%	5. 訪問診療への同席	29.7%	9. その他	20.5%
2. F A X	45.1%	6. サービス担当者会議	37.9%	(具体的に:)	
3. メール	24.6%	7. 直接訪問	8.7%	無回答	6.2%
4. 診察への同行	21.0%	8. オンライン	17.9%		

問 24 貴事業所のサービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。

(ア～クのそれぞれに1つずつ○)

	(N=195)	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
ア. 病 院		25.6%	30.8%	23.1%	13.3%	7.2%
イ. 利用者のかかりつけ医		41.0%	27.2%	20.0%	5.6%	6.2%
ウ. 訪問看護師		51.3%	19.5%	12.3%	8.2%	8.7%
エ. 歯科医師		20.5%	22.6%	24.1%	23.1%	9.7%
オ. 薬剤師		28.2%	32.8%	17.4%	13.8%	7.7%
カ. 病院の地域連携室 (医療ソーシャルワーカー)		20.5%	27.2%	23.1%	21.5%	7.7%
キ. 地域包括支援センター		52.3%	25.6%	8.7%	6.2%	7.2%
ク. ケアマネジャー (介護支援専門員)		74.9%	9.7%	2.1%	2.6%	10.8%

問 25 貴事業所では、医療と介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。(N=195)

(3つまでに○)

1. 医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ	49.7%
2. 医師・歯科医師がケアマネジャー（介護支援専門員）の相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を充実する	13.3%
3. 在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する	26.2%
4. 医療と介護の連携マニュアルを作成する	14.4%
5. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する	36.9%
6. 医療関係者と介護関係者が一緒に学ぶ研修の場を確保する	19.0%
7. 関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する	41.0%
8. 医療と介護が相互理解のため、それぞれがお互いの分野の知識を深める研修を行う	19.5%
9. その他（具体的に： 無回答	2.6% 7.2%

問 26 貴事業所では、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的に教えてください。

問 27 貴事業所では、医療機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的に教えてください。

病院 (地域連携室)	
診療所	
歯科診療所	
薬局	
訪問看護ステーション	

共生型サービスについておたずねします

問 28 介護保険法における高齢者や障害のある人がともに利用できる「共生型サービス」の提供について、貴事業所ではどのようにお考えですか。(1つに○)(N=195)

1. 提供する準備をしている（→問 28-1、問 28-2へ進む）	3.1%
2. 提供について検討したい（→問 28-1、問 28-2へ進む）	12.8%
3. 特に考えていない（→問 29へ進む）	77.4%
無回答	6.7%

問 28で「1」又は「2」とお答えの事業所におたずねします

問 28-1 準備又は検討している共生型サービスの種類は何ですか。(いくつでも○)(n=31)

1. 訪問介護	67.7%	2. 通所介護	19.4%	3. 短期入所	9.7%	無回答	12.9%
---------	-------	---------	-------	---------	------	-----	-------

問 28-2 共生型サービスを提供するにあたって、課題等があれば、ご自由にお書きください。

災害時等の体制についておたずねします

問 29 災害弱者に対する対策が重要となっていますが、貴法人では、災害時のマニュアルを作成していますか。(1つに○)(N=195)

1. 法人全体で共通のものを作成している（→問 29-1へ進む）	54.9%
2. 部門ごとに作成している（→問 29-1へ進む）	32.8%
3. 作成している部門もあるが、作成していない部門もある（→問 29-1へ進む）	1.0%
4. 作成していない（→問 30へ進む）	4.1%
5. その他（具体的に： 無回答	2.1% 5.1%

問 29で「1」～「3」又は「5」とお答えの事業所におたずねします

問 29-1 マニュアルに次の内容は含まれていますか。(いくつでも○)(n=177)

1. 利用者の安否確認の方法	91.0%	4. 医療機関や他事業所との連絡に關すること	58.8%
2. 職員の安否確認方法	91.5%	5. 地域住民の受入など地域との連絡に關すること	35.6%
3. 飲料水や食料、備蓄に關すること	84.7%	6. 定期的なマニュアルの見直しに關する事項	60.5%
		無回答	2.3%

問 30 貴事業所では、BCP（災害時の事業継続計画）を策定していますか。(1つに○)(n=195)

1. 策定している	92.3%
2. 策定していないが、今後策定する予定がある	0.5%
3. 策定しておらず、今後も策定する予定はない	0.0%
無回答	7.2%

地域との関わりについておたずねします

問 35 貴事業所では、以下のような地域の各団体や組織との関わりはありますか。(いくつでも○) (N=195)

1. 民生委員	22.1%	7. 商店街・商店	2.1%
2. 自治会・町会等	25.1%	8. ボランティア・NPO団体	15.9%
3. 保育園・幼稚園	13.3%	9. マンション・団地の管理組合	4.1%
4. 小中学校、高校	8.7%	10. その他（具体的に： ）	2.6%
5. シニアクラブ	1.0%	11. 特にない（→問36へ進む）	35.9%
6. 社会福祉協議会	28.7%	無回答	8.7%

問35で「1」～「10」とお答えの事業所におたずねします

問35-1 どのような関わりがありますか。(いくつでも○)
(n=108)

1. 介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有	41.7%
2. 地域のまつりへの参加	29.6%
3. 事業所で行う催しへの招待	31.5%
4. 事業所内の機能の開放（会議室など）	17.6%
5. 事業所と地域の各団体、組織がお互いの避難訓練に参加するなど、防災時対応への協力	18.5%
6. 事業所のサービスにおけるボランティア活動	25.9%
7. その他（具体的に：_____）	15.7%
無回答	2.8%

問 36 貴事業所では、地域包括支援センターが実施する地域ケア会議（地域支援連絡会）に参加したことはありますか。（1つに○）
（N=195）

1. ある (→問36-1へ進む)	46.7%	2. ない (→問37へ進む)	44.1%	無回答	9.2%
-------------------	-------	-----------------	-------	-----	------

問36で「1. ある」とお答えの事業所におたずねします

問 36-1 地域ケア会議（地域支援連絡会）を活発にするために必要と思われることは何ですか。

1. 地域ケア会議（地域支援連絡会）を理解するための研修	42.9%
2. 地域関係者等との連携の機会づくり	58.2%
3. 提出事例の様式の整備	7.7%
4. 会議の運営の工夫	29.7%
5. 特になし	8.8%
6. その他（具体的に： 無回答	1.1%
	1.1%

16

問 31 貴事業所では地震等の災害が発生したときの避難訓練や安否確認の訓練を実施していますか。
(1つに○) (N=195)

1. 実施している	86.2%	2. 実施していない	6.7%	無回答	7.2%
-----------	-------	------------	------	-----	------

問 32 貴事業所では、災害時に備えて、どの程度、地域と連携していますか。(いくつでも○) (N=195)

1. 自治会・町会等と防災協定を結んでいる	11.8%
2. 自治会・町会等と合同で避難訓練を行っている	9.2%
3. 介護保険や認知症高齢者などについてリーフレットを作成し地域に配布している	2.6%
4. 地域のまつりや行事に参加することをつながりをつくっている	18.5%
5. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている	16.9%
6. 事業所の利用者だけでなく、地域のためにも備蓄をしている	5.6%
7. 関係する事業者との連絡体制を構築している	38.5%
8. その他（具体的に：　　）	12.3%
無回答	24.6%

問 33 災害発生時における貴事業所が抱える課題などについてお書きください。

(例：サービス利用者の安否確認が事業所間で共有できない など)

感染症対策についておたずねします

問34 感染症防止のために貴事業所が取り組んでいることは何ですか。(いくつでも○)
(○の場合には()内に必要な文言をご記入ください) (N=195)

1. 職員の毎日の健康チェック	55.9%
2. 定期的な検査の実施（PCR検査、抗原検査など）	6.7%
3. 利用者の健康状態の把握	74.4%
4. 定期的な換気（頻度：3.69/日）	63.1%
5. 感染症対策マニュアルの整備、見直し及び活用	67.2%
6. 手指衛生（手洗い、手指消毒）の実施（頻度：出勤動時、ケア実施の前後、全ケア実施後、その他（ ））	86.7%
7. 人が良く触れる箇所の消毒の実施（頻度： /月）	50.8%
8. 防護服の着用（場面：密着ケア時、ケアをする時、常時着用、その他（ ））	20.5%
9. 防護服着脱訓練、手洗い講習などの職員向けの研修会の開催（頻度：2.62/年）	39.0%
10. その他（具体的に： ）	3.1%
無回答	5.6%

15

事故やトラブルの対応策についておたずねします

問 37 貴事業所には、ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の決まった様式がありますか。（1つに○）（N=195）

1. ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の専用の様式がある	53.8%
2. 事故報告書と兼用のヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の様式がある	34.9%
3. ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の様式はない	5.1%
4. その他（具体的に： 無回答	0.0% 6.2%

問 38 貴事業所には、ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）の報告基準や報告手順のマニュアルはありますか。（1つに○）（N=195）

1. ある	66.7%	2. ない	26.7%	無回答	6.7%
-------	-------	-------	-------	-----	------

問 39 報告のあがった「ヒヤリハット報告書（インシデントレポート）」をどのように活用していますか。（いくつでも○）（N=195）

1. 上司や管理者に「報告書」を提出し、報告する	74.9%
2. 関係する職員に「報告書」を回覧する	65.1%
3. 必要に応じてその日の内に内容について検討し、引継ぎの職員に申し送りする	49.2%
4. 必要に応じてその事例に関するケース検討会を開催し、要因・対応策について検討する	54.9%
5. 施設全体で定例のケース検討会を開催し、その中で要因・対応策について検討する	21.5%
6. 個別（利用者毎）のリスク対策プランをつくったり、支援計画に反映させるなど、職員全員で 情報が共有できるようにしている	23.1%
7. 定期的に「報告書」を集計し、事例の傾向や対策について検討	20.5%
8. その他（具体的に： 無回答	4.1% 8.7%

問 40 行政報告をした事故に関して、事業所内での情報共有や再発防止の取組をどのように行っていますか。（いくつでも○）（N=195）

1. 上司や管理者に報告書を提出し、報告する	74.4%
2. 関係する職員に報告書を回覧する	60.0%
3. その日の内に内容について検討し、引継ぎの職員に申し送りする	41.5%
4. その事例に関するケース検討会を開催し、要因・対応策について検討する	46.2%
5. 施設全体で定例のケース検討会を開催し、その中で要因・対応策について検討する	26.7%
6. 個別（利用者毎）のリスク対策プランをつくったり、支援計画に反映させるなど、職員全員で 情報が共有できるようにしている	24.6%
7. その他（具体的に： 無回答	7.2% 10.8%

利用者の居所変更の状況についておたずねします

※ 問 41～問 48 は、問 41 の 1～10 のサービス種別（「施設等」）に該当する事業所のみご回答ください。
それ以外の事業所は、問 49 にお進みください。

問 41 該当するサービス種別を、ご回答ください。（1つに○）（N=195）

1. 住宅型有料老人ホーム	3.1%	6. 地域密着型特定施設	0.0%
2. 軽費老人ホーム（特定施設除く）	0.0%	7. 介護老人保健施設	0.5%
3. サービス付き高齢者向け住宅 （特定施設除く）	3.6%	8. 介護医療院	0.0%
4. グループホーム	2.1%	9. 特別養護老人ホーム	4.1%
5. 特定施設	5.1%	10. 地域密着型特別養護老人ホーム	1.0%
		無回答	80.5%

問 42 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。（n=36）

1) 定員数など	[48.14]	[人 ・ 戸 ・ 室] ※該当する単位に○
2) 入所・入居者数	[45.81]	人
3) 待機者数	[36.00]	人
4) 特別養護老人ホームの場合 の待機者数（申込者数）	[75.71]	人 ※特養・地域密着型特養は回答不要

※「1）定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

問 43 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。

※ここでご記入いただいた合計人数と、問 42 でご記入いただいた「2）入所・入居者数」が一致すること
をご確認ください。

（n=36）

自立	[1.28]	人
要支援 1	[2.33]	人
要支援 2	[2.42]	人
要介護 1	[7.22]	人
要介護 2	[6.89]	人
要介護 3	[10.50]	人
要介護 4	[11.39]	人
要介護 5	[8.42]	人
申請中・不明	[0.50]	人
合計	[29.56]	人

ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問 44 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。
(n=35)
※貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に長った方は含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計）

〔 20.80 〕 人 ★

問 45 問 44 でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

※ ここでご記入いただいた「15」合計と、問 44 でご記入いただいた「新規の入所・入居者数（合計）」（★欄）が一致することを確認ください。
※ 一時的な入院の後に貴施設等に入所・入居した場合は「12」病院を選択してください。入院前の居場所が分からない場合は、「12」病院を選択してください。
※ 「1」自宅」に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。

(n=35)				市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）	〔 4.91 〕 人	〔 2.40 〕 人			
2) 住宅型有料老人ホーム	〔 0.60 〕 人	〔 0.37 〕 人			
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	〔 0.09 〕 人	〔 0.14 〕 人			
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	〔 0.37 〕 人	〔 0.14 〕 人			
5) グループホーム	〔 0.29 〕 人	〔 0.23 〕 人			
6) 特定施設	〔 0.49 〕 人	〔 0.31 〕 人			
7) 地域密着型特定施設	〔 0.14 〕 人	〔 0.09 〕 人			
8) 介護老人保健施設	〔 2.11 〕 人	〔 0.49 〕 人			
9) 介護医療院	〔 0.20 〕 人	〔 0.09 〕 人			
10) 特別養護老人ホーム	〔 0.09 〕 人	〔 0.14 〕 人			
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	〔 0.09 〕 人	〔 0.09 〕 人			
12) 病院・診療所（一時的な入院を除く）	〔 10.83 〕 人	〔 2.11 〕 人			
13) その他	〔 0.26 〕 人	〔 0.09 〕 人			
14) 入居・入所する前の居場所を把握していない	〔 0.11 〕 人				
15) 合計	〔 16.63 〕 人 ★				

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問 46 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。
(n=36)
※ なお、一時的な入院等で貴施設等に長った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含めないでください。

退去者数（合計）（※死亡・搬送先での死亡を含む）

〔 20.81 〕 人 ☆

問 47 問 46 でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。
(n=36)

※ 死亡（搬送先での死亡を含む）した人については、「死亡」欄にその人数をご記入ください。
※ ここでご記入いただいた合計人数と、問 46 でご記入いただいた「退去者数（合計）」（☆欄）が一致することをご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
〔0.33〕 人	〔0.39〕 人	〔0.25〕 人	〔1.28〕 人	〔1.22〕 人	〔2.69〕 人
要介護4	要介護5	新規申請中	死亡	合計	
〔4.86〕 人	〔3.58〕 人	〔0.11〕 人	〔8.67〕 人	〔 11.67 〕 人	☆

問 48 問 46 でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退居先別の人数をご記入ください。
※ ここでご記入いただいた「16」合計と、問 46 でご記入いただいた「退去者数（合計）」（☆欄）が一致することをご確認ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

(n=36)			市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）		〔 0.64 〕 人	〔 0.36 〕 人	
2) 住宅型有料老人ホーム		〔 0.25 〕 人	〔 0.17 〕 人	
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）		〔 0.03 〕 人	〔 0.03 〕 人	
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		〔 0.31 〕 人	〔 0.14 〕 人	
5) グループホーム		〔 0.11 〕 人	〔 0.03 〕 人	
6) 特定施設		〔 0.33 〕 人	〔 0.56 〕 人	
7) 地域密着型特定施設		〔 0.03 〕 人	〔 0.03 〕 人	
8) 介護老人保健施設		〔 0.08 〕 人	〔 0.14 〕 人	
9) 介護医療院		〔 0.19 〕 人	〔 0.19 〕 人	
10) 「9」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）		〔 1.28 〕 人	〔 0.56 〕 人	
11) 特別養護老人ホーム		〔 0.78 〕 人	〔 0.53 〕 人	
12) 地域密着型特別養護老人ホーム		〔 0.03 〕 人	〔 0.03 〕 人	
13) その他		〔 0.06 〕 人	〔 0.03 〕 人	
14) 行先を把握していない			〔 2.22 〕 人	
15) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）			〔 13.08 〕 人	
16) 合計			〔 14.14 〕 人	☆

府中市への意向についておたずねします

問 49	今後、保険者としての府中市に対し、事業者として望むことは何ですか。(2つまでに○) (N=195)	
1.	介護保険に関する情報提供、研修の実施	17.9%
2.	質の向上のために事業者が行う研修への支援	13.8%
3.	不正な事業者への指導	5.6%
4.	利用者への適正なサービス利用の啓発	20.5%
5.	地域包括支援センター機能の充実	12.3%
6.	人材確保のためのボランティアポイントの設立	9.7%
7.	元気高齢者等による介護人材の育成・確保	4.6%
8.	介護職の専門性の充実やキャリアアップへの支援	14.9%
9.	事務負担軽減にむけてシステム化	27.7%
10.	自然災害・感染症対策の強化	14.9%
11.	特になし	6.7%
12.	その他（具体的に：)	10.3%
	無回答	9.7%

問 50 介護保険制度をよりよい制度としていくためのご意見や医療と介護の連携についてのご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

介護支援専門員（ケアマネジャー）調査

<調査についてのお願い>

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、令和8年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、市内で活動する介護支援専門員（ケアマネジャー）の皆さま全員にお願いさせていただきます。ご意見やご要望をお伺いするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「個人情報保護に関する法律」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年10月 府中市

※この調査はインターネット及び郵送のいずれかでご回答いただけます。
調査の流れにつきましては、次ページに記載がございますので、ご確認をお願いします。

回答に当たってのお願い

1. 調査基準日は、令和7年10月1日とします。（期日の指定のあるものを除く）
2. 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数は、それぞれの設問の指示に従ってください。また、「3つまでに○」など、○の数が指定されている設問は、あなたの考えに近いものや優先したいものを選んでご回答ください。
3. の場合は回答内容等を記入してください。
4. 「その他」に○印をつけた場合は、 内に内容を具体的に記入してください。
5. 調査票の回答にかかる時間は、およそ20分です。

11月4日（火）までに、ご回答いただくようお願いいたします。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課
地域包括ケア推進係
電話（042）335-4537（直通）
E-mail：kourei01@city.fuchu.tokyo.jp

インターネット回答用 ID
C0000



① インターネット（パソコン・スマートフォン等）で答える

① 調査票サイトにアクセスする

以下のURLか二次元コードを読み取り、調査票サイトにアクセスします。



URL：https://jp.surveymonkey.com/r/LHTGYX2

② ログイン・回答する

調査票サイトのはじめに、表紙（前ページ）の右下に記載している「インターネット回答用 ID」を入力し回答を開始してください。

調査票の表紙右下に記載がある「インターネット回答用 ID」を入力してください。

ID

【インターネット回答に関するご注意】

1. 回答内容は途中で保存されないため、時間に余裕を持って開始し、最後まで回答を完了していただくようお願いします。
2. インターネットで回答した場合は調査用紙の提出は不要です。
3. 「インターネット回答用 ID」は無作為に配布していますので、個人を特定するものではありません。どなたがどのIDであるかは照合できません。



調査票に記入して郵送で答える

1. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
2. 回答のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。（切手は不要です。差出人名は無記名で結構です。）

最初に、あなたのことについておたずねします

問1

あなたの性別※をお答えください。
※性別については、戸籍上の区別とは別にご自身の主観によりご記入ください。(1つに○)(N=101)

1. 男性

22.8%

2. 女性

74.3%

3. その他

0.0%

4. 答えたくない

3.0%

無回答

0.0%

問2

あなたの年齢をお答えください。(1つに○)(N=101)

1. 20代

0.0%

3. 40代

23.8%

5. 60代

32.7%

無回答

0.0%

2. 30代

5.0%

4. 50代

34.7%

6. 70歳以上

4.0%

問3

あなたは、介護支援専門員(以下「ケアマネジャー」)以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(いくつでも○)(N=101)

1. 医師

0.0%

7. 作業療法士

0.0%

13. 精神保健福祉士

4.0%

2. 歯科医師

0.0%

8. 言語聴覚士

0.0%

14. 社会福祉主事

12.9%

3. 薬剤師

0.0%

9. 歯科衛生士

2.0%

15. ホームヘルパー(訪問介護員)

41.6%

4. 保健師

0.0%

10. 栄養士、管理栄養士

1.0%

16. その他

12.9%

5. 看護師、准看護師

2.0%

11. 社会福祉士

15.8%

(具体的に:)

6. 理学療法士

0.0%

12. 介護福祉士

81.2%

無回答

0.0%

問4

あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などをしている場合は、前職なども含めた合計期間で答えてください。(1つに○)(令和7年10月1日時点)(N=101)

1. 1年未満

4.0%

3. 3年以上5年未満

4.0%

5. 7年以上

73.3%

2. 1年以上3年未満

6.9%

4. 5年以上7年未満

11.9%

無回答

0.0%

問5

あなたは、主任ケアマネジャー(主任介護支援専門員)の資格を有していますか。(1つに○)(N=101)

1. ある

39.6%

3. 過去に取得していたが、現在はなし

3.0%

2. ない

57.4%

無回答

0.0%

問6

あなたは、現在の居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして在籍している期間はどのくらいですか。(1つに○)(N=101)

1. 1年未満

11.9%

3. 3年以上5年未満

10.9%

5. 7年以上

47.5%

2. 1年以上3年未満

15.8%

4. 5年以上7年未満

13.9%

無回答

0.0%

ケアマネジャー業務の担当状況についておたずねします

問7

あなたの勤務形態をお答えください。(1つに○)(N=101)

1. 常勤・専従(→問8へ進む)

67.3%

3. 非常勤・専従(→問8へ進む)

13.9%

2. 常勤・兼務(→問7-1へ進む)

16.8%

4. 非常勤・兼務(→問7-1へ進む)

2.0%

無回答

0.0%

問7-1

どのような業務を兼務していますか。(いくつでも○)(n=19)

1. 管理・事務

89.5%

3. 介護サービス

10.5%

5. その他(具体的に:)

10.5%

2. 医療系サービス

0.0%

4. 相談業務

0.0%

無回答

0.0%

問7-2

又は「4」と答えた方におたずねします

問8

令和7年10月1日現在、あなたが担当している利用者数(一時的入院などを含め、継続的に関わっている総利用者数)をご記入ください。担当している利用者や件数がない場合には「0」と記入してください。(N=101)

要介護1～5

31.03

人

要支援1・2

1.84

人

介護予防・日常生活支援総合事業対象者

0.24

人

問8-1

介護予防プランの作成を受託していない場合、その理由をお答えください。(もとも当てはまるもの1つに○)(N=101)

1. プラン作成に手間がかかる

12.9%

3. 法人・会社の方針

22.8%

2. 報酬が少ない

13.9%

4. その他(具体的に:)

5.9%

無回答

44.6%

問8-2

介護予防プランの受託件数を増やううえで課題となることは何ですか。
具体的に書きください。

479

1

2

問 11 あなたは、介護保険サービス以外のサービスやサポートをケアプランに加えたことがありますか。(いくつでも○) (N=101)

1. 市の高齢者福祉サービスを加えたことがある (→問 11-1 へ進む)	68.3%
2. 市の高齢者福祉サービス以外のインフォーマルサポートを加えたことがある (→問 11-4 へ進む)	72.3%
3. どちらもない (→問 12 へ進む)	8.9%
無回答	1.0%

問 11 で「1」とお答えの方におたずねします

問 11-1 ケアプランに加えた高齢者福祉サービスはどれですか。(いくつでも○) (n=69)

1. バックベッド確保事業	13.0%	6. 寝具乾燥サービス	31.9%
2. 日常生活用具貸付とレンタル	17.4%	7. 理容師・美容師の派遣	68.1%
3. はいかい高齢者探索サービス	27.5%	8. 特になし	1.4%
4. 日常生活用品 (おむつ) の助成	88.4%	9. その他 (具体的に:)	7.2%
5. 車いす福祉タクシー	78.3%	無回答	0.0%

問 11-2 今後一層の充実が必要と感じる高齢者福祉サービスは次のどれですか。(2つまでに○) (n=69)

1. バックベッド確保事業	37.7%	6. 寝具乾燥サービス	4.3%
2. 日常生活用具貸付とレンタル	2.9%	7. 理容師・美容師の派遣	10.1%
3. はいかい高齢者探索サービス	27.5%	8. 特になし	7.2%
4. 日常生活用品 (おむつ) の助成	37.7%	9. その他 (→問 11-4 または問 12 へ進む)	
5. 車いす福祉タクシー	36.2%	(具体的に:)	7.2%
		無回答	2.9%

問 11-2 で「1」～「8」とお答えの方におたずねします

問 11-3 その理由を2つまで具体的に書きください。

問 11-2 で選んだ選択肢番号 ()

問 11-2 で選んだ選択肢番号 ()

→問 11-4 または問 12 へ進む

問 9 あなたは、ケアプランを作成する際、どのようなことで困っていますか。(いくつでも○) (N=101)

1. 身寄りがいない	64.4%
2. 要介護者と家族の考えが異なる	56.4%
3. 家族が協力的でない	48.5%
4. キーパーソンがいない	53.5%
5. 認知症のため利用者自身で判断できない	29.7%
6. 費用負担の面で、適切なプランが作成できない	41.6%
7. 介護保険の利用限度額ではサービスが足りない	29.7%
8. 要介護者や家族から提案したプランに同意が得られない	10.9%
9. 介護保険制度への理解が得られない	43.6%
10. その他 (具体的に:)	13.9%
無回答	1.0%

担当地域におけるサービスの状況についておたずねします

問 10 担当している地域で、事業所数もしくは定員など、(1) 量的に不足していると感じるサービス、(2) 今後必要性がより高まると思われるサービスはありますか。

((1) から (2) について、それぞれ3つまでの1～25より選んで番号を記入) (N=101)

(1) 量的に不足しているサービス			
(2) 今後必要性がより高まると思われるサービス			

1. 訪問介護	26.7%	14. 介護老人福祉施設	5.9%、9.9%
2. 訪問看護	0.0%、6.9%	15. 介護老人保健施設	13.9%、10.9%
3. 訪問リハビリテーション	13.9%、6.9%	16. 介護医療院	16.8%、10.9%
4. 訪問入浴介護	5.0%、4.0%	17. 夜間対応型訪問介護	22.8%、20.8%
5. 居宅療養管理指導	1.0%、1.0%	18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18.8%、20.8%
6. 通所介護	7.9%、9.9%	19. 小規模多機能型居宅介護	7.9%、8.9%
7. 通所リハビリテーション	20.8%、9.9%	20. 看護小規模多機能型居宅介護	5.0%、9.9%
8. 短期入所生活介護	8.9%、17.8%	21. 地域密着型通所介護	4.0%、2.0%
9. 短期入所療養介護	12.9%、8.9%	22. 認知症対応型通所介護	12.9%、14.9%
10. 特定施設入居者生活介護	3.0%、2.0%	23. 認知症対応型共同生活介護	6.9%、14.9%
11. 福祉用具の貸与	0.0%、4.0%	24. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1.0%、4.0%
12. 特定福祉用具購入	0.0%、1.0%		11.9%、8.9%
13. 住宅改修費の支給	0.0%、0.0%	25. 特になし	4.0%、1.0%
		無回答	

問 11-5 の回答についておたずねします

問 11-6 その理由を 2 つまで具体的に書きください。

問 11-5 で選んだ選択肢番号 ()

問 11-5 で選んだ選択肢番号 ()

サービス提供事業所との関わりについておたずねします

問 12 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。(いくつでも○) (N=101)

1. サービス提供事業所のパンフレット等の収集

2. サービス提供事業所のホームページを閲覧

3. 地域単位の事業者情報誌等を閲覧

4. 都の介護サービス情報のホームページを閲覧

5. 「WAMネット」の事業者情報を閲覧

6. 同一地区のサービス提供事業所との定期的な連絡会などに参加

7. ケアプラン作成に必要な部分のみを近隣にある特定の事業者に対し
電話・面談等で直接問合せ・連絡・調整

8. サービス提供は原則同一法人内で行うため、
その他の事業者との連絡をとる機会はない

9. 地域包括支援センターに問い合わせで情報を得る

10. その他 (具体的に:)

11. 特に行っていない (問 12-1 へ進む)

無回答

83.2%

69.3%

14.9%

12.9%

12.9%

24.8%

53.5%

0.0%

13.9%

1.0%

15.8%

0.0%

問 12 で「11. 特に行っていない」とお答えした方におたずねします。

問 12-1 その理由を具体的に書きください。

問 11 で「2」とお答えの方におたずねします

問 11-4 ケアプランに加えたインフォーマルサポートはどのような内容のものですか。(いくつでも○) (n=73)

1. 利用者の支給限度額を超えて提供する訪問介護等

2. 訪問介護での外出時の乗降介助、散歩などの付添い

3. 病院、買物等への付添い

4. 移動販売・食材配達

5. ふれあいいきいきサロン

6. コミュニティカフェ

7. 話し相手、見守り

8. 夜間や日中、利用者の要望に応じた随時対応の支援

9. 草むしり、犬の散歩などの介護保険で利用できない支援

10. 大掃除、家屋の修繕、園芸、家具の移動などの生活支援

11. 配食、共食、季節の調理、食事の付添いなどの支援

12. 移送、墓参り等の付添いなど

13. 旅行の付添い

14. 資産管理などの権利擁護、成年後見制度

15. 趣味・娯楽・文化活動支援

16. その他 (具体的に:)

無回答

47.9%

41.1%

78.1%

21.9%

11.0%

4.1%

41.1%

39.7%

20.5%

23.3%

67.1%

12.3%

2.7%

57.5%

23.3%

8.2%

1.4%

問 11-5 今後一層の充実が必要と感じるインフォーマルサポートは次のどれですか。(2 つまでに○) (n=73)

1. 利用者の支給限度額を超えて提供する訪問介護等

2. 訪問介護での外出時の乗降介助、散歩などの付添い

3. 病院、買物等への付添い

4. 移動販売・食材配達

5. ふれあいいきいきサロン

6. コミュニティカフェ

7. 話し相手、見守り

8. 夜間や日中、利用者の要望に応じた随時対応の支援

9. 草むしり、犬の散歩などの介護保険で利用できない支援

10. 大掃除、家屋の修繕、園芸、家具の移動などの生活支援

11. 配食、共食、季節の調理、食事の付添いなどの支援

12. 移送、墓参り等の付添いなど

13. 旅行の付添い

14. 資産管理などの権利擁護、成年後見制度

15. 趣味・娯楽・文化活動支援

16. その他 (具体的に:)

無回答

12.3%

6.8%

43.8%

6.8%

1.4%

1.4%

19.2%

27.4%

4.1%

6.8%

8.2%

1.4%

1.4%

27.4%

8.2%

1.4%

6.8%

5

481

サービス利用者の在宅医療の状況についておたずねします

問 16 あなたが担当している利用者の中に、訪問診療、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。(アからエのそれぞれ1つに○) (N=101)

ア. 訪問診療	1. いる 98.0%⇒ (10.84) 人 ⇒ うち実際に受けている (8.85) 人
	2. 必要と思われる方はいない 2.0% 無回答 0.0%
イ. 訪問看護	1. いる 99.0%⇒ (13.10) 人 ⇒ うち実際に受けている (11.72) 人
	2. 必要と思われる方はいない 1.0% 無回答 0.0%
ウ. 訪問歯科診療	1. いる 91.1%⇒ (6.53) 人 ⇒ うち実際に受けている (4.35) 人
	2. 必要と思われる方はいない 5.9% 無回答 3.0%
エ. 訪問服薬管理指導	1. いる 94.1%⇒ (8.81) 人 ⇒ うち実際に受けている (6.52) 人
	2. 必要と思われる方はいない 4.0% 無回答 2.0%

問 17 あなたは、専門職の立場からみて、高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能は何だと考えますか。(いくつでも○) (N=101)

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所	11.9%
2. 訪問看護 (訪問看護ステーション)	3.0%
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設	27.7%
4. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア	20.8%
5. 在宅療養をしている方の状況変化時に受入可能な入院施設	82.2%
6. その他 (具体的に： 無回答	10.9% 7.9%

問 18 医療的ケア (胃ろう、吸引、インスリン、人工肛門など) が必要な利用者のショートステイ (レスパイト) に関して、どのように対応されていますか。(いくつでも○) (N=101)

1. 介護保険施設にてショートステイを利用	44.6%	4. 市のバックベッド確保事業を利用	18.8%
2. 有料老人ホームのショートステイを利用	14.9%	5. ショートステイを利用していない	16.8%
3. 入院を調整	43.6%	6. その他 (具体的に： 無回答	4.0% 5.0%

問 13 問 12 に関して、情報収集するうえでの課題はありますか。

サービス担当者会議についておたずねします

問 14 サービス担当者会議の開催にあたって、困難と感じることは何ですか。(いくつでも○) (N=101)

1. 自分の日程調整	31.7%	6. 会場の確保	2.0%
2. サービス事業者との日程調整	75.2%	7. 資料づくり	12.9%
3. 利用者の出席	10.9%	8. 会議の進め方	16.8%
4. 家族の出席	47.5%	9. 感染症への対応	9.9%
5. 主治医の出席	65.3%	10. その他 (具体的に： 無回答	6.9% 0.0%

地域包括支援センターの役割についておたずねします

問 15 市内の地域包括支援センターは、その役割を果たしていると思いますか。次の各項目についてお答えください。(ア～コのそれぞれ1つに○)

	(N=101)	十分果たしていると思う	まあまあ果たしていると思う	どちらともいえない	あまり果たしていない	果たしているとは思わない	無回答
ア. 地域の総合相談窓口としての役割		15.8%	56.4%	19.8%	5.9%	2.0%	0.0%
イ. 高齢者等による要介護高齢者の早期発見と対応の役割		7.9%	42.6%	39.6%	6.9%	1.0%	2.0%
ウ. 支援困難事例への個別指導・相談の役割		7.9%	43.6%	23.8%	16.8%	5.9%	2.0%
エ. かかりつけ医 (主治医) との連携の役割		4.0%	13.9%	52.5%	19.8%	8.9%	1.0%
オ. 高齢者虐待防止・権利擁護の役割		9.9%	46.5%	29.7%	8.9%	5.0%	0.0%
カ. 介護予防プランを作成する役割		41.6%	39.6%	14.9%	3.0%	1.0%	0.0%
キ. 介護予防講座や教室を開催する役割		37.6%	41.6%	17.8%	1.0%	1.0%	1.0%
ク. ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談の役割		7.9%	31.7%	34.7%	13.9%	11.9%	0.0%
ケ. 地域におけるケアマネジャーのネットワークづくりの役割		11.9%	34.7%	29.7%	16.8%	5.9%	1.0%
コ. 多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援の役割		7.9%	40.6%	34.7%	10.9%	5.9%	0.0%

問 19 今後、医療的ケアが必要な在宅療養者が増加することが考えられます。このとき、在宅療養を継続するうえで必要と思われる支援・サービスを具体的に教えてください。

認知症のある利用者のサービス利用についておたずねします

問 20 あなたが担当している認知症のある利用者の状況で、実際にあることは次のどれですか。またそのうち、最も大変なことはどれですか。(いくつでも○、最も大変なことに◎) (N=101)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない	59.4%、12.9%
2. 本人の意思の確認がとれない	44.6%、8.9%
3. 家族が認知症であることを認めない	44.6%、9.9%
4. 薬の飲み間違えがあって、服薬管理ができない	52.5%、5.0%
5. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる	25.7%、0.0%
6. 認知症の症状等のため適切なサービスの提供ができない、拒否される	62.4%、18.8%
7. 消費者被害に遭遇している	20.8%、0.0%
8. 虐待を受けている	13.9%、1.0%
9. 本人や家族間で介護の方針が食い違う	43.6%、8.9%
10. 身体疾患があり医療的な管理が難しい	15.8%、2.0%
11. その他（具体的に：)	7.9%、0.0%
無回答	3.0%、32.7%

問 21 あなたは認知症のある利用者の支援にあたって、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○) (N=101)

1. とれている	5.0%	4. とれていない	3.0%
2. まあまあとれている	42.6%	5. どちらともいえない	16.8%
3. あまりとれていない	30.7%	無回答	2.0%

問 22 これから認知症のある利用者の支援にあたり必要になると思うことは、次のどれですか。(3つまでに○) (N=101)

1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること	21.8%
2. 認知症のある人を支援する社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと	63.4%
3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと	25.7%
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること	10.9%
5. かかりつけ医やケアマネジャーの認知症に対する理解と対応力が向上すること	21.8%
6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと	15.8%
7. 地域ケア会議などの専門的な支援体制が充実すること	8.9%
8. 認知症初期集中支援チームなどにより早期からアセスメントや支援が行われること	12.9%
9. 認知症のある人やその家族に対する支援が充実していくこと	60.4%
10. その他（具体的に：)	9.9%
無回答	2.0%

医療と介護の連携の状況についておたずねします

問 23 医療機関やかかりつけ医と通常どのような方法で情報を交換していますか。(いくつでも○) (N=101)

1. 電話	89.1%	5. 訪問診療への同席	68.3%	9. その他	34.7%
2. FAX	54.5%	6. サービス担当者会議	17.8%	(具体的に：)	
3. メール	30.7%	7. 直接訪問	10.9%	無回答	1.0%
4. 診察への同行	40.6%	8. オンライン	17.8%		

問 24 あなたは、利用者が入院する際に、どれくらいの頻度で情報提供書を作成し、入院先へ提供していますか。(1つに○) (N=101)

1. ほとんど提出している (81%~100%)	21.8%	4. あまり提出していない (21%~40%)	16.8%
2. 概ね提出している (61%~80%)	25.7%	5. ほとんど提出していない (0%~20%)	22.8%
3. 半分くらい提出している (41%~60%)	7.9%	無回答	5.0%

問 25 あなたは、医療関係機関（病院（地域連携室）、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション）にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的に教えてください。

病院 (地域連携室)	
診療所	
歯科診療所	
薬局	
訪問看護ステーション	

ケアマネジャー業務全般についておたずねします

問 29 あなたは、利用者の自立支援に向けたケアプランの作成が十分にできていると思いますか。
(N=101)
(1つに○)

1. 思う (→問 29-1へ進む)	7.9%
2. 少しは思う (→問 29-1へ進む)	66.3%
3. あまり思わない (→問 29-2へ進む)	14.9%
4. 思わない (→問 29-2へ進む)	1.0%
5. どちらともいえない (→問 30へ進む)	8.9%
無回答	1.0%

問 29 で「1」又は「2」とお答えの方におたずねします

問 29-1 自立支援に向けたケアプランとなるように意識していることや、自立支援につなげるために工夫していることについて具体的に記入ください。

問 29 で「3」又は「4」とお答えの方におたずねします

問 29-2 そのように思う理由について具体的に記入ください。

問 26 あなたは、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的に教えてください。

問 27 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える職種・役職などは何ですか。(いくつでも○)
(N=101)

1. 主治医・かかりつけ医	86.1%	8. 地域包括支援センター	37.6%
2. 歯科医師	35.6%	9. 他の居宅介護支援事業所等	10.9%
3. 薬剤師	45.5%	10. 介護保険外サービス事業者	19.8%
4. 看護師	38.6%	11. 市町村の介護保険担当者等	17.8%
5. 訪問看護師	73.3%	12. 民生委員、福祉協力員など	18.8%
6. 理学療法士等のリハビリ職	54.5%	13. 社会福祉協議会	16.8%
7. 医療ソーシャルワーカー	54.5%	14. その他 (具体的に：)	1.0%
		無回答	1.0%

問 28 貴事業所では、医療と介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。
(3つまでに○)
(N=101)

1. 医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ	42.6%
2. 医師・歯科医師がケアマネジャー (介護支援専門員) の相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を充実する	23.8%
3. 在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する	27.7%
4. 医療と介護の連携マニュアルを作成する	18.8%
5. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する	27.7%
6. 医療関係者と介護関係者が一緒に学ぶ研修の場を確保する	12.9%
7. 関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する	54.5%
8. 医療と介護が相互理解のため、それぞれがお互いの分野の知識を深める研修を行う	24.8%
9. その他 (具体的に：)	5.0%
無回答	4.0%

問 30 ケアマネジャー業務を行ううえで、課題としてお考えのことはどのようなことですか。
(いくつでも)

(N=101)

1. 市内にインフォォーマルサポートの種類が少ない

2. サービス提供事業者に関する情報が少ない

3. 利用者及び家族にサービスの必要性を理解してもらうための対応方法が分からない

4. 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない

5. 多問題事例のケアマネジメントの方法が分からない

6. 認知症ケアの方法が分からない

7. 医療機関との連携がうまくとれない

8. 相談する人が身近にいない

9. 所属している事業所の関連事業者からのサービスに偏る

10. 資格更新のための日程調整・研修費用が十分でない

11. その他（具体的に：）

無回答

47.5%

17.8%

12.9%

24.8%

17.8%

2.0%

16.8%

6.9%

5.0%

27.7%

17.8%

6.9%

問 31 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。(いくつでも)

(N=101)

1. 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意

2. 課題分析のための居宅訪問・面接

3. サービス担当者会議の開催・調整

4. ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意

5. ケアプランの交付（書類の作成など）

6. 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接

7. 主治医や医療機関との連絡調整

8. 利用者や事業者の苦情対応

9. 要介護認定などの申請代行

10. 介護報酬請求事務

11. 夜間や休日の相談対応

12. ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと

13. 特に負担に感じることはない

14. その他（具体的に：）

無回答

23.8%

22.8%

35.6%

5.9%

22.8%

21.8%

36.6%

35.6%

15.8%

14.9%

43.6%

70.3%

5.0%

16.8%

2.0%

問 32 ご自身のケアマネジャー業務のレベルアップのために、(1) 現在行っている、(2) 今後行いたい取組は何ですか。(1) から (2) のそれぞれ2つまで)

(1) 現在行っている取組

(N=101)

1. 自主的な勉強会の実施・参加

2. 居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的参加

3. ケースカンファレンス等で具体的な検討を通して助言を受ける

4. 事業所内の研修への積極的な参加

5. 外部研修への積極的な参加

6. 参考書などからの知識や情報の収集

7. 特に行っていない

8. その他（具体的に：）

無回答

25.7%

53.5%

13.9%

32.7%

29.7%

8.9%

4.0%

3.0%

2.0%

(2) 今後行いたい取組

(N=101)

1. 自主的な勉強会の実施・参加

2. 居宅介護支援事業者連絡会や地域包括支援センターのケアマネ支援事業への積極的参加

3. ケースカンファレンス等で具体的な検討を通して助言を受ける

4. 事業所内の研修への積極的な参加

5. 外部研修への積極的な参加

6. 参考書などからの知識や情報の収集

7. 特に行っていない

8. その他（具体的に：）

無回答

21.8%

29.7%

24.8%

8.9%

49.5%

13.9%

3.0%

4.0%

3.0%

問 33 あなたは、今後も府中市内の居宅介護支援事業所でケアマネジャー業務を続けたいと思いますか。
(1つに○)

(N=101)

1. 今後も続けたい

2. であれば続けたい

3. あまり続けたいとは思わない

4. 続けたくない

5. 分からない

無回答

27.7%

37.6%

19.8%

2.0%

11.9%

1.0%

問 33-1 そのように思う理由について具体的に記入ください。

485

13

14

府中市への意向についておたずねします

問34 今後、保険者としての府中市に対し、ケアマネジャーとして望むことは何ですか。(2つまでに○)
(N=101)

1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施	30.7%
2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援	9.9%
3. 不正な事業者への指導	3.0%
4. 利用者への適正なサービス利用の啓発	31.7%
5. 地域包括支援センター機能の充実	25.7%
6. 市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催	17.8%
7. 制度運営における保険者判断部分の周知	35.6%
8. 特になし	3.0%
9. その他（具体的に： 無回答	15.8% 2.0%

問 35 介護保険制度をよりよい制度としていくためのご意見や医療と介護の連携についてのご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

15

ここからは、あなたが担当している利用者で、在宅生活の維持が難しくなっている方についてお尋ねします

自宅にお住まいの方のうち「現在のサービス利用では、在宅生活の維持が難しくなっている利用者」もしくは「家族等介護者の就労継続が難しくなっている利用者」が対象です。※最大5人までご回答ください。(N=211)

問 36. 対象となる利用者の状況等について、
お伺いします。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)
現在生活のサービスは、生活の維持に必要となる「利用者」に該当しますか。	介護者等 介護者の 就労継続 が難しい な利用 者に該 当しま すか。	世帯類型	現在の居所	要支援・ 要介護度	主な家族等 介護者等 の方の年 代	主な家族等介護者の 現在の勤務形態 ※「パートタイム」とは、 同一事業所に週4以 上雇用され就業時間 が一定の場合を指し ており、「アルバイト」 とは、「契約社員」等 自営・フリーランス等の 場合も、勤務時間：日数時 からフルタイム・パ ートタイムのいずれかを 選択してください。	今後の在宅生活の機 会、または家族等に介 護者の就労継続に向 うべく、特に要援等分 担になる自由になっ ている介護

記入例	1	2	1	1	3	6	2	4, 7, 14
1人目								
2人目								
3人目								
4人目								
5人目								

16

問 38. 現在のサービス利用では、本人の生活の維持、もしくは家族等介護者の就労継続が難しくなっている理由等について、お伺いします。	(1)	(2)	問 39. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」もしくは「家族等介護者の就労継続が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の改善等について、お伺いします。
該当の利用者が抱えている生活課題をお答えください。	本人の生活の維持、もしくは家族等介護者の就労継続のために、充実が必要な「生活支援」をお答えください。	本来であればより適切と思われる、具体的なサービスを教えてください。	
※実際にサービスがあるかないかに関わらず、利用者・家族等介護者にとって適切と思うサービスを選択してください。 どちらでも良い場合は、＜在宅サービス＞＜住まい・施設等＞の両方から複数選択することも可能です。			
あてはまる番号 すべて選択記入	あてはまる番号 すべて選択記入	あてはまる番号 すべて選択記入	あてはまる番号 すべて選択記入
1. 経済的 4.3% 2. ひどい暮らしで継続が難しい 16.6% 3. 認知症の症状の悪化 44.5% 4. 認知症などの疾病の進行 7.6% 5. 経済的なサービスが不足している 27.0% 6. 個別サービス計画の内容について 4.7% 7. 個別サービス計画の内容について本人と 家族の意見が合わない 5.2% 8. 必要なサービスが不足している 13.3% 9. 家族に障害や精神疾患がある 10.4% 10. 老々介護、認知症などの世帯 13.3% 11. 虐待を受けている、又はその疑いがある 7.1% 12. 消費者被害や詐欺被害を受けている 又はその疑いがある 0.9% 13. 飲酒や喫煙など生活面で問題がある 6.6% 14. 経済に困難している 20.9% 15. 住宅に困難している 7.6% 16. 利用料を滞納している 1.4% 17. その他 13.7% 18. 特にな 2.4% 無回答 4.7%	1. 配食 26.5% 2. 調理 17.5% 3. 掃除・洗濯 24.2% 4. 買い物 22.3% 5. ゴミ出し 22.3% 6. 外出同行 34.6% 7. 移動サービス (介護・福祉カー等) 20.4% 8. 見守り、声かけ 45.0% 9. サロンなどの定期的な通いの場 6.2% 10. その他 19.4% 11. 特にな 7.6% 無回答 4.3%	1. ショースタイ 51.7% 2. 訪問介護、訪問入浴 34.6% 3. 夜間対応型訪問介護 10.9% 4. 訪問看護 24.2% 5. 訪問リハ 7.1% 6. 通所介護、通所リハ、認知症対応型通所 26.1% 7. 定期巡回サービス 11.4% 8. 小規模多機能 9.0% 9. 看護小規模多機能 3.8% 10. 訪問診療 20.9% 11. 居宅療養管理指導 17.5% 無回答 4.7%	＜在宅サービス＞ 12. 住宅型有料 18.0% 13. サ高住 10.0% 14. 軽費老人ホーム 8.1% 15. グループホーム 19.4% 16. 特定施設 4.7% 17. 介護老人保健施設 11.8% 18. 介護医療院 7.6% 19. 特別養護老人ホーム 27.5% 無回答 4.7%
3, 8, 10	5, 6	7, 17	

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、11月4日（火）までに返送してください。

医療機関調査

<調査についてのお願い>

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、令和8年度に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第10期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、市内の医療機関にお願いさせていただき、ご意見やご要望をお伺いするものです。ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「個人情報保護に関する法律」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年10月 府中市

※この調査はインターネット及び郵送のいずれかでご回答いただけます。

調査の流れにつきましては、次ページに記載がございますので、ご確認をお願いします。

回答に当たってのお願い

1. 調査基準日は、令和7年10月1日とします。（期日の指定のあるものを除く）
2. 法人全体ではなく、貴医療機関について、ご記入をお願いいたします。
3. 次のとおり、医療機関ごとに記入者を指定させていただきます。
①一般診療所：医師の方 ②歯科診療所：歯科医師の方
③薬局：薬剤師の方 ④訪問看護ステーション：訪問看護師の方
⑤病院：退院支援担当者（医療ソーシャルワーカー、看護師等）の方
4. 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数は、それぞれの設問の指示に従ってください。また、「3つまでに○」など、○の数が指定されている設問は、あなたの考えに近いものや優先したいものを選んでご回答ください。
5. の場合は回答内容等を記入してください。
6. 「その他」に○印をつけた場合は、[] 内に内容を具体的に記入してください。
7. 調査票の回答にかかる時間は、およそ15分です。

11月4日（火）までに、ご回答いただくようお願いいたします。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課
地域包括ケア推進係
電話（042）335-4537（直通）
E-mail：kourei01@city.fuchu.tokyo.jp

インターネット回答用 ID

D0000



① **インターネット（パソコン・スマートフォン等）で答える**

①調査票サイトにアクセスする

以下のURLから二次元コードを読み取り、調査票サイトにアクセスします。

URL：<https://jp.surveymonkey.com/r/LHXHQMQ>



②ログイン・回答する

調査票サイトのはじめに、表紙（前ページ）の右下に記載している「インターネット回答用 ID」を入力し回答を開始してください。

調査票の表紙右下に記載がある「インターネット回答用 ID」を入力してください。

ID

【インターネット回答に関するご注意】

1. 回答内容は途中で保存されないため、時間に余裕を持って開始し、最後まで回答を完了していただくようお願いいたします。
2. インターネットで回答した場合は調査用紙の提出は不要です。
3. 「インターネット回答用 ID」は無作為に配布していますので、医療機関を特定するものではありません。どの医療機関がどのIDであるかは照合できません。



② **調査票に記入して郵送で答える**

1. 記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
2. 回答のご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函してください。（切手は不要です。差出人名は無記名で結構です。）

最初に、あなたやあなたの所属されている医療機関についておたずねします

問1	あなたが所属されている医療機関を教えてください。(1つに○)	(N=306)
1.	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出有)	7.5%
2.	一般診療所 (在宅療養支援診療所としての届出無)	24.2%
3.	歯科診療所	27.8%
4.	薬局	30.4%
5.	訪問看護ステーション	7.8%
6.	病棟の退院支援担当者 (病棟の地域連携室、看護師等)	1.6%
7.	その他 (具体的に:)	0.3%
	無回答	0.3%

問2	あなたの職種は次のどれですか。(1つに○)	(N=306)
1.	医師	27.5%
2.	歯科医師	27.1%
3.	薬剤師	30.1%
4.	看護師	2.9%
5.	訪問看護師	6.9%
6.	医療ソーシャルワーカー	1.3%
7.	その他 (具体的に:)	無回答
	無回答	0.7%

医療と介護の連携についておたずねします (全職種共通質問)

問3	府中市民の在宅療養を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。(1つに○)	(N=306)
1.	十分連携していると思う (→問4へ進む)	8.5%
2.	ある程度連携していると思う (→問4へ進む)	64.7%
3.	連携が不十分であると思う (→問3-1へ進む)	18.0%
4.	ほとんど連携していないと思う (→問3-1へ進む)	7.8%
	無回答	1.0%

問3で「3」又は「4」とお答えの方におたずねします

問3-1	そのように考える理由は何ですか。(3つまでに○)	(n=79)
1.	医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない	21.5%
2.	お互いに多忙で連絡がとれない	25.3%
3.	個人情報保護の観点から情報が共有されない	10.1%
4.	交流の場がない	51.9%
5.	誰と連絡をとればいいのか分からない	41.8%
6.	介護保険など福祉の制度が分からない	17.7%
7.	介護関係者の医療に関する知識や理解が不足している	16.5%
8.	その他 (具体的に:)	12.7%
	無回答	0.0%

病院の退院支援担当者以外の方におたずねします

問4	退院前 (時) カンファレンスやサービス担当者会議に出席したことがありますか。(1つに○)	(n=300)
1.	ある	27.7%
2.	ない	63.7%
	無回答	8.7%

問5 介護サービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。(ア～ソのそれぞれ1つに○)

	(N=306)	い 連 携 し て	し 少 し は 連 携	あ ま り 連 携	い 連 携 し て	無 回 答
ア. 病 院		25.5%	27.5%	13.7%	18.0%	15.4%
イ. 介護サービス利用者のかかりつけ医		25.8%	21.9%	13.7%	22.5%	16.0%
ウ. 介護サービス利用者に必要と考えられる 診療科単科の医師		14.4%	23.2%	19.6%	26.1%	16.7%
エ. 歯科医師		10.1%	17.0%	23.5%	34.0%	15.4%
オ. 薬剤師		18.0%	24.2%	15.7%	24.8%	17.3%
カ. 病院の地域連携室 (医療ソーシャルワーカー)		15.0%	19.9%	20.6%	28.1%	16.3%
キ. 地域包括支援センター		24.5%	22.5%	17.3%	20.3%	15.4%
ク. 訪問看護ステーション		29.1%	21.6%	13.1%	21.2%	15.0%
ケ. ケアマネジャー (介護支援専門員)		35.3%	21.2%	11.4%	17.3%	14.7%
コ. ホームヘルパー (訪問介護員)		15.0%	22.5%	21.2%	25.5%	15.7%
サ. 通所介護 (デイサービス)		10.8%	17.6%	23.5%	31.0%	17.0%
シ. 訪問・通所リハビリテーション		12.4%	16.0%	21.2%	34.0%	16.3%
ス. 短期入所生活介護 (ショートステイ)		9.5%	14.4%	22.5%	36.9%	16.7%
セ. 特別養護老人ホーム		9.8%	14.1%	23.9%	35.6%	16.7%
ソ. 介護老人保健施設		9.8%	15.0%	21.9%	36.9%	16.3%

問6 介護保険制度及び介護保険サービスの内容についてどの程度理解していますか。(1つに○)

1.	十分理解している	11.4%
2.	ある程度理解している	45.1%
3.	あまり理解していない	21.9%
4.	全く理解していない	5.2%
5.	どちらともいえない	無回答
	無回答	3.9%

問7 貴医療機関では、医療と介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。(3つまでに○)

1.	医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ	48.7%
2.	医師・歯科医師がケアマネジャー (介護支援専門員) の相談を受け付ける時間 「ケアマネタイム」を充実する	19.9%
3.	在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する	29.1%
4.	医療と介護の連携マニュアルを作成する	23.5%
5.	医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する	28.1%
6.	医療関係者と介護関係者が一緒に学ぶ研修の場を確保する	16.0%
7.	関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する	33.7%
8.	医療と介護が相互理解のため、それぞれがお互いの分野の知識を深める研修を行う ()	17.0%
9.	その他 (具体的に:)	2.9%
	無回答	5.2%

問8 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える事業所や介護職はですか。(2つまでに○)
(N=306)

1. ケアマネジャー (介護支援専門員)	71.6%	5. ヘルパー (訪問介護)	24.2%
2. 地域包括支援センター	44.1%	6. 生活支援コーディネーター	9.2%
3. ショートステイ (短期入所) 事業所	7.8%	7. 福祉用具事業所・福祉用具専門相談員	2.9%
4. 通所介護事業所	6.9%	8. その他 (具体的に:)	1.6%
		無回答	5.9%

問9 今後、次のような認知症や認知症の医療・介護に関する研修があれば受けたいですか。
(いくつでも○) (N=306)

1. 認知症サポーター養成講座 地域のなかで認知症について正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守り、 支援する応援者の研修	27.5%
2. キャラバン・メイト養成研修 地域の認知症サポーター養成講座の企画や講師を務める指導者を育成する研修	5.2%
3. かかりつけ医認知症研修 かかりつけ医に対し、適切な認知症診断の知識、家族からの話や悩みを聞く姿勢 を習得する研修	25.2%
4. 認知症サポーター医養成研修 かかりつけ医への助言など、認知症地域医療体制の中核的役割を担う医師を養成 する研修	17.6%
5. (歯科医師・薬剤師・看護師) 認知症対応力向上研修 適切な認知症診断の知識、家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得する研修	37.3%
6. 特になし	25.2%
7. その他 (具体的に:)	2.0%
無回答	4.9%

《診療所 (医師の方) は、P 4・問1 0にお進みください》

《歯科診療所 (歯科医師の方) は、P 5・問1 6にお進みください》

《薬局 (薬剤師の方) は、P 7・問1 9にお進みください》

《訪問看護ステーション (訪問看護師の方) は、P 8・問2 1にお進みください》

《退院支援担当者 (医療ソーシャルワーカー、看護師) がいる病院は、
P 9・問2 4にお進みください》

診療所 (医師の方) にかかっています

問10 現在、あなたの診療所が行っている在宅医療はどれですか。(いくつでも○)	(n=97)			
1. 訪問診療	15.5%	5. 訪問看護	3.1%	
2. 往診	22.7%	6. 訪問看護指示書の交付	27.8%	
3. 在宅での看取り	12.4%	7. 訪問リハビリテーション	5.2%	
4. 居宅療養管理指導	9.3%	8. 行っていない (→問11へ進む)	38.1%	
		無回答	14.4%	

問10で「1」～「7」とお答えの方におたずねします

問 10-1	訪問診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。(いくつでも○)	(n=46)	
1.	通院していた患者が訪問診療や 居宅療養管理指導を受けるようになった	47.8%	
2.	以前からのかかりつけ医師	26.1%	
3.	医師会からの依頼	2.2%	
4.	主治医	19.6%	
5.	病院からの紹介	21.7%	
		6. ケアマネジャー (介護支援専門員)	39.1%
		7. 訪問看護ステーション	39.1%
		8. 介護サービス事業者	8.7%
		9. 本人又は家族	47.8%
		10. その他 (具体的に:)	0.0%
		無回答	4.3%

問 11	あなたの診療所と、他の医療機関との連携はとれていますか。(1つに○)	(n=97)
1.	十分連携している	10.3%
2.	ある程度連携している	56.7%
3.	連携が不十分である	7.2%
		無回答
4.	ほとんど連携していない	9.3%
5.	どちらともいえない	6.2%
		10.3%

問12 あなたの診療所では、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに○) (n=97)

1. 確保している	26.8%	2. 確保していない	63.9%	無回答	9.3%
-----------	-------	------------	-------	-----	------

問13 認知症のある人を治療するときに困ることは何ですか。(いくつでも○) (n=97)	
1. 処方した薬の飲み間違いがある	42.3%
2. 病気に対する適切な対応の仕方が分からない	18.6%
3. 処方する薬のことが分からない	17.5%
4. 本人や家族から正確な情報が得られない	45.4%
5. 治療の方針が理解してもらえない	33.0%
6. 症状や状態の変化によって治療が難しい	37.1%
7. その他 (具体的に:)	4.1%
無回答	12.4%

問14 認知症サポーター医に相談をしたことがありますか。(1つに○)				(n=97)
1. ある	19.6%	3. 自分が認知症サポーター医である		12.4%
2. ない	57.7%	無回答		10.3%

問 16-4 訪問歯科診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。(いくつでも○) (n=41)

1. 通院していた患者が訪問歯科診療や 居宅療養管理指導を受けるようになった	58.5%	7. ケアマネジャー (介護支援専門員)	26.8%
2. 以前からのかかりつけ歯科医師	24.4%	8. 訪問看護ステーション	4.9%
3. 歯科医師会からの依頼	68.3%	9. 介護サービス事業者	17.1%
4. 主治医	14.6%	10. 本人又は家族	48.8%
5. 病院からの紹介	9.8%	11. その他	2.4%
6. 都立心身障害者口腔保健センターからの紹介	4.9%	(具体的に：)	
		無回答	0.0%

問 17 今後、依頼があった場合に訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施は可能ですか。(1つに○) (n=85)

1. 依頼があれば、訪問する	34.1%
2. 訪問するが、治療内容によっては通院してほしい	27.1%
3. 訪問はできない	35.3%
4. その他 (具体的に：)	2.4%
無回答	1.2%

問 18 あなたの歯科診療所では、在宅で療養生活を送っている府中市民の方の主治医 (かかりつけ医) と連携していますか。(1つに○) (n=85)

1. 連携している (→P10 問 27へ進む)	16.5%
2. あまり連携していない (→問 18-1へ進む)	32.9%
3. 連携していない (→問 18-1へ進む)	48.2%
無回答	2.4%

問 18で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします

問 18-1 その理由は何ですか。(1つに○) (n=69)

1. 連携が必要な事例がない	50.7%	4. その他	10.1%
2. 連携の方法が分からない	29.0%	(具体的に：)	
3. 必要と思わない	8.7%	無回答	1.4%

→P10 問 27へお進みください。

問 15 認知症のある人の治療を専門医に紹介することはありますか。(1つに○) (n=97)

1. ある (→問 15-1へ進む)	60.8%	2. ない (→P10 問 27へ進む)	32.0%
		無回答	7.2%

問 15で「1. ある」と回答した方におたずねします

問 15-1 どのような目的で紹介をしますか。(いくつでも○) (n=59)

1. 認知症の鑑定診断を依頼するため	69.5%	4. 治療を依頼するため	74.6%
2. 治療方針の助言を受けるため	40.7%	5. その他 (具体的に：)	0.0%
3. 処遇に関する参考意見を得るため	8.5%	無回答	3.4%

問 15-2 どのような機関の専門医ですか。(いくつでも○) (n=59)

1. 認知症疾患医療センターの専門医	72.9%
2. 高齢者医療の専門機関の専門医	30.5%
3. 高齢者医療の専門ではないが設備のある医療機関の専門医	30.5%
4. その他 (具体的に：)	5.1%
無回答	3.4%

問 15-3 そのときどのようなことが問題になりますか。(いくつでも○) (n=59)

1. 本人や家族の理解が得られない	37.3%	4. 手続が煩雑で時間がかかる	8.5%
2. 適切な医療機関が分からない	8.5%	5. 特に問題はない	35.6%
3. 紹介する先が多忙で時間がかかる	33.9%	6. その他 (具体的に：)	0.0%
		無回答	1.7%

→P10 問 27へお進みください。

歯科診療所 (歯科医師の方) にかかっています

問 16 あなたの歯科診療所では、訪問歯科診療や居宅療養管理指導を行っていますか。(1つに○) (n=85)

1. 行っている (→問 16-1へ進む)	48.2%	2. 行っていない (→問 17へ進む)	51.8%
		無回答	0.0%

問 16で「1」とお答えの方におたずねします

問 16-1 あなたの歯科診療所では、訪問時に口腔衛生指導等を実施していますか。(1つに○) (n=41)

1. 実施している	87.8%	2. 実施していない	12.2%
		無回答	0.0%

問 16-2 あなたの歯科診療所では、歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導を実施していますか。(1つに○) (n=41)

1. 実施している	75.6%	2. 実施していない	22.0%
		無回答	2.4%

問 16-3 訪問歯科診療や居宅療養管理指導で対応可能な治療は何ですか。(いくつでも○) (n=41)

1. 義歯の作成や調整	97.6%	4. 摂食嚥下指導	41.5%	7. その他	0.0%
2. むし歯の治療	85.4%	5. 歯科衛生指導	87.8%	(具体的に：)	
3. 歯周病の治療	82.9%	6. 応急処置のみ	22.0%	無回答	0.0%

薬局（薬剤師の方）にうかがいます

問19 あなたの薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を利用している府中市民はいますか。（1つに○）（n=93）

1. いる (→問19-1、問19-2へ進む)	61.3%	2. いない (→問19-4へ進む)	38.7%
		無回答	0.0%

問19で「1」とお答えの方におたずねします

問 19-1 居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。(いくつでも○)

1. 以前からの患者が居宅療養管理指導を受けるようになった	56.1%	5. 訪問看護ステーション	19.3%
2. 主治医		6. 介護サービス事業者	17.5%
3. 薬剤師会からの依頼	54.4%	7. 本人又は家族	42.1%
4. ケアマネジャー（介護支援専門員）	0.0%	8. その他（具体的に：無回答	0.0%
	57.9%		

問19-2 医師との連携をどのようにしていますか。(1つに○)

1. 処方箋のみのやりとり (→問 20へ進む) 2. 処方箋以外の連携や指示がある (→問 19-3へ進む) 3. その他 (具体的に：) (→問 19-3へ進む)	22.8% 71.9% 5.3% 0.0%
--	--------------------------------

無回答

問19-2で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします

問19-3 具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも○)

1. 文章	38.6%	5. 訪問 (次の①、②のうち該当するものを○)	20.5%
2. 電話	72.7%	⇒ ①医師を訪問 / ②医師が薬局を訪問)	
3. FAX	61.4%	6. ケース会議・カンファレンスに参加	31.8%
4. 電子メール	15.9%	7. その他 (具体的に:)	31.8%
		無回答	0.0%

問19で「2」とお答えの方におたずねします

問19-4 いない理由は次のどれですか。(いくつでも○)

1. 時間がない	33.3%	6. 在宅の業務管理指導の対応がわからない	5.6%
2. 報酬が少ない	2.8%	7. 自分がしなくてもいいと思う	0.0%
3. 特に要請がない	61.1%	8. 面倒である	0.0%
4. 依頼請求が分からない	2.8%	9. その他(具体的に:)	19.4%
5. 在宅の業務管理指導が難しい	5.6%	無回答	0.0%

問 20 府中市内で訪問診療を行う在宅療養支援診療所の方策を取り扱っていますか。(1つに○)(n=13)

1. 取り扱っている→1か月平均 (40.08) 人	92.3%	2. 取り扱っていない	7.7%
		無回答	0.0%

→P10 問27へお進みください。

訪問看護ステーション（訪問看護師の方）にうかがいます

問 21 あなたの訪問看護ステーションでの、令和7年9月中の活動状況をお答えください。
(①～③のそれぞれ1つに○)

(n=24)			
	行った	行わなかった	無回答
①緊急対応時の訪問看護	91.7%	8.3%	0.0%
②医療保険による訪問看護	95.8%	4.2%	0.0%
③在宅での看取り	70.8%	25.0%	4.2%

問 22 あなたの訪問看護ステーションでは、在宅医療を実施している医療機関とどのような連携をとっていますか。(ア～ウのそれぞれ1つに○)

(n=24)	十分とれている	ある程度とれている	あまりとれていない	全くとれていない	無回答
	66.7%	29.2%	4.2%	0.0%	0.0%
	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	66.7%	29.2%	0.0%	4.2%	0.0%

問22-1へ進む

問22で、1つでも「3」又は「4」とお答えの方におたずねします

問 22-1 在宅医療を実施している医療機関との連携がとれていない理由として特筆すべきことがございましたら、ご自由にお書きください。

[illegible]

問23 医師との連携をどのようにとっていますか。(1つに○)

1. 訪問看護指示書のみやりとり (→P10 問27へ進む)	4.2%
2. 訪問看護指示書以外の連携や指示がある (→問23-1へ進む)	95.8%
3. その他 (具体的に:) (→問23-1へ進む)	0.0%
無回答	0.0%

問23で「2」又は「3」とお答えの方におたずねします

問23-1 具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも○)				(n=23)
1. 文書	52.2%	5. 訪問 (次の①、②のうち該当するものを○)		34.8%
2. 電話	100.0%	⇒ ①医師を訪問 / ②医師が訪問看護ステーションを訪問		
3. FAX	91.3%	6. ケース会議・カンファレンスに参加		52.2%
4. 電子メール	34.8%	7. その他 (具体的に:)		47.8%
		無回答		0.0%

→P10 問27へお進みください。

退院支援担当者 (医療ソーシャルワーカー、看護師) がいる病院にうかがいます

問24 貴医院における令和7年9月中の活動状況をお答えください。(①～④のそれぞれ1つに○)				
(n=5)	行 っ た	行 わ な か っ た	無 回 答	
①退院支援の相談	100.0%	0.0%	0.0%	
②退院前 (時) カンファレンス	100.0%	0.0%	0.0%	
③退院支援の訪問診療の調整	100.0%	0.0%	0.0%	
④退院時の訪問看護の調整	100.0%	0.0%	0.0%	

問25 貴医院では、どのような地域連携活動を行っていますか。(いくつでも○)				(n=5)
1. 主治医とケアマネジャー (介護支援専門員) との連携を図る窓口となっている				60.0%
2. 入院時から退院後の相談に応じている				100.0%
3. 退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師等の担当者間で共有している				100.0%
4. 地域の介護職を交えて退院前 (時) カンファレンスを行っている				100.0%
5. その他 (具体的に:)				0.0%
無回答				0.0%

問26 介護保険施設とどのように連携していますか。(いくつでも○)				(n=5)
1. 介護保険施設の医師や看護師から入所者の健康管理や処置の情報を入手している				80.0%
2. 介護保険施設の相談員や介護職員から入所者のケアや生活状況の情報を入手している				100.0%
3. 介護保険施設と提携している				60.0%
4. 急変時に受け入れるベッドを確保している				20.0%
5. その他 (具体的に:)				0.0%
無回答				0.0%

→P10 問27へお進みください。

ここからは、すべての方がお答えください

災害時等の体制についておたずねします

問27 災害時等における高齢者をはじめとするよう配慮者の支援において、特に課題だと感じていることは何ですか。(3つまでに○)
(N=306)

1. 情報伝達・共有体制	60.5%
2. 医療物資・医薬品の確保・搬送	59.2%
3. 医療機器の稼働と電力確保	35.9%
4. 医療的ケアが必要な高齢者への対応	35.0%
5. 医療・介護の連携体制	25.2%
6. 職員の確保	24.5%
7. 平時からの準備・訓練	21.9%
8. 特にない	2.0%
9. その他 (具体的に:)	1.6%
無回答	1.6%

在宅医療の実施状況についておたずねします

問28 在宅医療を行う上で、どのような苦勞がありますか。(いくつでも○)
(N=306)

1. 患者や家族の理解・協力を得ること	37.3%
2. 24時間訪問診療可能なスタッフの確保	33.7%
3. 緊急時に入院又は搬送できる医療機関との連携体制の確保	27.1%
4. 緊急時に連絡を受けられる診療所の体制の確保	22.9%
5. 夜間等緊急時に関係機関と連絡が取れない	13.1%
6. 診療所職員の在宅医療に関する知識や技術の向上	7.5%
7. 介護関係者との連携・連絡体制の構築	22.2%
8. 介護関係者の在宅医療に関する知識や理解の向上	12.4%
9. 在宅医療に必要な医療材料・機器の確保	17.0%
10. 在宅医療を希望する患者が多すぎて手が回らない	2.9%
11. 診療報酬が見合わない	27.8%
12. 移動時間がかかり非効率	20.6%
13. プライベートの時間の確保が難しい	19.9%
14. 外来時間内の往診依頼の対応	16.7%
15. 特にない	12.4%
16. その他 (具体的に:)	7.5%
無回答	6.9%

問 29	今後、在宅医療・在宅ケアを推進するために、どのような取組が重要だと思いますか。 (いくつでも○)	(N=306)
1.	複数の医療機関が在宅医療を分担しあう体制や情報提供手段を構築する	47.7%
2.	緊急時の受け入れ等、専門医療機関との連携体制を構築する	44.4%
3.	在宅生活を支える訪問看護など介護保険サービスの充実を図る	31.4%
4.	地域の診療所全体の在宅医療に関する知識や技術の向上を図る	16.7%
5.	地域ケア会議やサービス担当者会議等に参加し、介護との連携体制を構築する	19.9%
6.	在宅医療の重要性を地域の医療機関に啓発・普及する	13.7%
7.	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の普及を図る	18.6%
8.	介護する家族に対する支援の充実を図る	32.7%
9.	地域住民への在宅医療に関する普及・啓発を行う	19.6%
10.	診療報酬を改定する	37.3%
11.	情報共有ツールの活用	23.5%
12.	特になし	6.5%
13.	その他（具体的に： 無回答	4.2% 4.2%

問 30	患者本人のケアマネジャー（介護支援専門員）との連携や情報共有の状況はいかがですか。 (1つに○)	(N=306)
1.	必ずケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができている	16.3%
2.	どちらかといえば、ケアマネジャー（介護支援専門員）と連携ができている	34.0%
3.	どちらかといえば、ケアマネジャー（介護支援専門員）と連携できていない	13.7%
4.	全くケアマネジャー（介護支援専門員）と連携できていない	7.5%
5.	どちらともいえない	20.3%
	無回答	8.2%

問 31 ケアマネジャー（介護支援専門員）、訪問看護師、福祉施設介護員、福祉施設生活相談員、ホームヘルパー（訪問介護員）、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的に書きください。

ケアマネジャー（介護支援専門員）	
訪問看護師	
福祉施設介護員	
福祉施設生活相談員	
ホームヘルパー（訪問介護員）	
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	
その他	

問 32	これから府中市で医療と介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。	
(1)	連携の仕組みづくり（2つまでに○）	(N=306)
1.	多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める	42.5%
2.	府中市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する	42.5%
3.	医療介護の療養連携共通シートをつくる	14.1%
4.	患者の情報などをネット上で共有するツールを推進する	30.4%
5.	摂食・嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援などの多職種チームを充実させる	15.7%
6.	その他（具体的に： 無回答	3.6% 6.2%
(2)	地域の人材育成（2つまでに○）	(N=306)
1.	医療・介護の相互理解のための専門研修を進める	39.9%
2.	栄養士、歯科衛生士なども含めた専門職の人材把握・発掘を行う	19.3%
3.	多職種が参加して学ぶ講演会や学習会を増やす	31.4%
4.	多職種が参加して学ぶグループワークや事例検討会を増やす	20.6%
5.	在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす	12.1%
6.	在宅医療を担う訪問看護士などの人材育成を進める	22.2%
7.	その他（具体的に： 無回答	1.3% 8.5%
(3)	サービス・基盤整備（2つまでに○）	(N=306)
1.	随時対応の訪問介護看護などの在宅サービスを充実させる	31.4%
2.	病院による、在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる	27.5%
3.	独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する	40.2%
4.	医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する	35.3%
5.	要介護認定の簡素化など末期がん患者などのサービス利用をしやすくする	17.6%
6.	その他（具体的に： 無回答	2.3% 8.5%
(4)	情報提供・相談支援の充実（2つまでに○）	(N=306)
1.	在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる	54.9%
2.	地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する	48.0%
3.	かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる	14.4%
4.	講座などを開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める	11.4%
5.	府中市内の医療・介護や福祉に関する社会資源マップを作成する	19.3%
6.	その他（具体的に： 無回答	1.6% 7.2%

問 33 在宅療養者に対する医療や介護サービスのあり方、介護保険制度、医療保険制度等を含め、医療と介護の連携についてのご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、11月4日（火）までに返送してください。

府中市

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
(第10期) 策定のための調査報告書

令和8年3月発行

発行：府中市福祉保健部高齢者支援課

所在地：〒183-8703 府中市宮西町2丁目24番地

電話番号：042(335)4537